

Odds Park Club

Graded Dirt Races

- 10/ 4 東京盃 JpnII (大井)
- 10/ 5 レディスプレリュード JpnII (大井)
- 10/ 9 マイルチャンピオンシップ南部杯 JpnI (盛岡)
- 11/ 1 エーデルワイス賞 JpnIII (門別)
- 11/ 3 JBC2歳優駿 JpnIII (門別)
- 11/ 3 JBCレディスクラシック JpnI (大井)
- 11/ 3 JBCスプリント JpnI (大井)
- 11/ 3 JBCクラシック JpnI (大井)
- 11/22 兵庫ジュニアグランプリ JpnII (園田)
- 11/23 浦和記念 JpnII (浦和)
- 11/29 クイーン賞 JpnIII (船橋)
- 12/13 全日本2歳優駿 JpnI (川崎)
- 12/20 兵庫ゴールドトロフィー JpnIII (園田)
- 12/21 名古屋グランプリ JpnII (名古屋)
- 12/29 東京大賞典 GI (大井)

vol.71

2023.10~12

笠松競馬特集
ジョッキータビュ
渡邊竜也 騎手



私的名馬録

1番人気でGⅡを連勝 ミツアキタービン

オグリキャップ、ライデンリーダー、ラブミーチャンなど数々の名馬を輩出してきた笠松競馬。そんな中でも「平成に活躍した思い出の名馬で原稿を」との依頼を受けた時、真っ先に浮かんできたのがミツアキタービンだった。2002年、上山競馬でデビューしたミツアキタービンは新馬戦2着に続く2走目を圧勝した後、2歳の暮れに笠松競馬場へ移籍。転入当時は「大きな馬が入ってきたなあ」とは感じたが、関係者の方々に取材をしていても、のちの活躍を予感させるようなコメントは聞かれなかったような気がする。それでも3歳6月に行われたGⅢ・名古屋優駿で地方馬最先着の4着、9月のGI・ダービーグランプリで3着と地力をつけ、地方競馬の実力馬として認められるようになり、続く岐阜金賞は2着に1秒2差をつけて重賞初勝利を飾った。

そんなミツアキタービンがJRAのファンにも認知されるきっかけになったのが3歳12月に中京で行われた1000万条件の香嵐渓特別。中間の気配もよかったし、「ダービーグランプリ3着馬がこのクラスで2番人気ならおいしい」と、現地に駆けつけ、

単勝を握りしめていた日を昨日の事のように思い出すが、結果は4馬身差の快勝。2着馬はのちに重賞を2勝したアンドゥオールだから、その強さは本物だ。このレースから加藤健調教師の勇退に伴い、田口輝彦厩舎に移籍したが、これがきっかけになったのかさらに力強さが増し、主戦だった東川公則騎手も「これは強いよ」と自信をつけた様子だったことを覚えている。

その後、中2週で4歳の元日に行われた地元の重賞・東海ゴールドカップを圧勝、同じ月に平安ステークスGⅢでは6着。そこから中3週のフェブラリーステークスGIでは12番人気ながら0秒2差の4着に健闘。後日、惜しかったですねと声を掛けると東川騎手は「直線で先頭に立った時は、あれ？行けるんじゃないの？って夢見たよ」と興奮気味に語ってくれたが、中央や地方の敷居がもっと低く、ゆとりあるローテーションで完璧な仕上げが出来ていれば、GI制覇も夢ではなかったかと思えてくる。

これで押しも押されぬ地方の雄となったミツアキタービンは3月のダイオライト記念GⅡで1番人気に支持され、2着のイングリディエーレに5馬身差の圧勝。続く、地元笠松のオグリキャップ記念GⅡでは単勝1.1倍の圧倒的1番人気に応え、カネツフルヴを直線で競り落として、ダートグレード連勝を成し遂げた。この頃には



断然人気にこたえ地元のオグリキャップ記念を勝利

馬の雰囲気も転入時とは一変、馬場に現れた途端にオーラを感じる存在になっていた。

が、オグリキャップ記念GⅡのあと屈腱炎を発症。9歳8月まで休養を繰り返しつつ、地元の重賞を3勝したが、以前の圧倒的な強さを取り戻すことなく、惜しまれつつも現役を引退。今でも、万全の状態でフェブラリーステークスGIに出ていたら勝っていたんじゃないかと本気で想像してしまうが、その消化しきれない思いがあるからこそ、ミツアキタービンの記憶も私の中からなかなか消えないのかもしれない。

竹中嘉康 (たけなか よしやす)

父親の影響で物心ついたころから笠松競馬場に通い、自然と競馬が好きになる。1994年、紙面に掲載されていた社員募集の告知を見て競馬エースに入社。編集部勤務を経て、数年後から現在まで笠松の調教取材を担当。

≡ Pickup!! ≡ 注目重賞

第39回 中島記念

12月24日(日) 3歳以上 佐賀1800m

1978年に始まった『ファン選抜サラ系特別』が前身で、ファン投票により出走馬を決定する選抜戦。1972年の佐賀競馬場の鳥栖市移転に深く関わるなど佐賀競馬の発展に寄与した中島憲義氏の功績を称える意味を込め、85年にレース名が中島記念へと改称され、回次も第1回に改められた。また創設から永らくはB級馬による重賞だったが、2001年からはオープン(A級)に



リュウノシンゲンが断然人気に応えた22年中島記念

条件が変更され、古馬の総決算となるレースに。開催時期も年末であることから『佐賀の有馬記念』とも呼ばれている。

距離は2000mから16年に1800mへ変更され、今年が第39回となるが、真島正徳騎手(現調教師)が09~12年、15年~18年と2度の4連覇を含む歴代最多の9勝。そのなかにはキョウワカイザーでの3連覇(15~17年)や、ウルトラカイザーが3歳時(11年)と10歳時(18年)に勝利と珍しい記録も達成している。

22年は2、3歳時に岩手で重賞を7勝し、川崎を経て同年夏に佐賀へ移籍したリュウノシンゲンが断然人気に応えて勝利。佐賀では16戦12勝(うち重賞5勝、8月末現在)で、馬券圏外に敗れたのはダートグレード競走の2戦のみ。現在の古馬戦線をけん引する存在となっている。

第54回 高知県知事賞

12月31日(日) 3歳以上 高知2400m

かつては年明けに行われていた時期もあったが、1999年度以降は晦日に実施。“GRAND PRIX”という副題がつくように1年の総決算でもある古馬の頂上決戦。高知競馬場が現在地に移転した85年度(86年1月)からは2400mの距離で争われて

おり、高知市長賞(アラブ系)が2008年1月限りで廃止されて以降、同距離で実施される唯一のレースとなっている。

高知競馬は一時期、売上減に伴い、レース賞金が減額。本レースも例外ではなく、1着賞金は99年1月の1000万円から徐々に下がり、06~12年には135万円まで落ち込んだ。しかしその後は様々な経営努力によって業績は大幅に改善。近年は徐々に増額となり、22年には過去最高の2000万円で争われた。

今年が第54回と、高知競馬の重賞では最も歴史を重ねているが、ここまで連覇を達成したのはマルカイッキュウ(98、99年1月)、ウォーターダグ(01、02年)、グランシュヴァリエ(12、13年)、スperlマロン(19、20年)の4頭。特にスperlマロンは、21、22年にも2着で4年連続連対中。21年10月には、高知所属時の獲得賞金で初めて1億円を超えた。この快挙に続きそうなのが22年の勝ち馬ガルボマンボ。史上3頭目の3歳馬による高知県知事賞制覇を果たすと、今年に入ってもだるま夕日賞、二十四万石賞と重賞を2勝し、高知移籍後の獲得賞金は9263万円と1億円突破が目前(8月末現在)。2頭ともに現役であれば今年の高知県知事賞では1億円ホース対決も見られるかもしれない。

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●4歳世代と古馬は一強状態

ばんえい3歳三冠の第一弾『ばんえい大賞典 (BG3)』は、マルホンリョウユウが2歳シーズンの重賞勝ち馬キョウエイプラス、タカラキングダム、アシュラダイマオーらを抑えて重賞初制覇。昨季の2歳上位馬が今季は揃って不振のなか、2着のホクセタイヨウとともに順調な成長を見せつける結果となった。11月のばんえい菊花賞 (BG2)、年末のばんえいダービー (BG1) と残る二冠に向けて実績馬の復活があるか。3歳戦線は絶対的な中心馬不在で混沌としている。

4歳シーズンの一冠目『柏林賞 (BG3)』



7月2日 柏林賞 キングフェスタ

は、キングフェスタが1番人気に依って勝利。2着に10秒近く差をつける圧勝で世代重賞6勝目を飾った。なお逃げ粘って2着だったヘッチャラは、キングフェスタ不在の3歳・4歳混合の『はまなす賞 (BG3)』を勝利して4歳世代上位の貫録を見せている。

古馬ではメモロポプサップが開幕から7戦6勝。オープン重賞4戦のうち『北斗賞 (BG3)』、『旭川記念 (BG2)』、『ばんえいグランプリ (BG2)』の3勝と圧倒的な強さと安定感を見せている。ハンデを課せられる今後も一強状態をキープできるか、同世代のライバル・アオノブラック、インピクタ、昨季のばんえい記念優勝馬メジロゴロキらが巻き返すか見どころとなる。



8月13日 ばんえいグランプリ メモロポプサップ

5月から始まった2歳戦線では上位が固定されつつあるも力は拮抗。牡馬より一足先に行われた牝馬特別・白菊賞では、3番人気アアモンドミヤビが、1番人気スマイルカナを抑えて勝利。成長力ある2歳は牡馬・牝馬ともにまだまだ予断を許さない接戦のレースが繰り広げられそう。

文●板垣雅己 (ねっとばんぱキングロー)

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2023年6月～2023年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/18	北斗賞(3歳以上)	200	メモロポプサップ(牡7)	阿部武臣	ばんえい・坂本東一
7/2	柏林賞(4歳)	200	キングフェスタ(牡3)	鈴木恵介	ばんえい・小北栄一
7/16	旭川記念(3歳以上)	200	メモロポプサップ(牡7)	阿部武臣	ばんえい・坂本東一
7/30	ばんえい大賞典(3歳)	200	マルホンリョウユウ(牡3)	鈴木恵介	ばんえい・金田 勇
8/13	ばんえいグランプリ(3歳以上)	200	メモロポプサップ(牡7)	阿部武臣	ばんえい・坂本東一
8/27	はまなす賞(3歳・4歳)	200	ヘッチャラ(牡4)	菊池一樹	ばんえい・鈴木邦哉

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

●最終回も好勝負期待

10月1日は第36回ダービーグランプリが行われる。全日本的なダート競走の体系整備に伴い、来年度からは新しい“3歳ダート三冠競走”がスタート。これに伴いダービーグランプリは本年度が最後の実施で、来年度よりJpnⅡとなる不来方賞にその役割を譲ることとなる。第1回から全国の強豪(旧)4歳馬を集めて激戦が続けられてきたが、最終回にして史上最大級の遠征馬が参戦を表明した。デビューから6戦6勝で南関東の三冠を達成、6戦目のジャパンダートダービーJpnⅠでJRA勢も撃破した、大井のミックファイアである。ここまで見せてきた能



6月11日 東北優駿(岩手ダービー) ミニアチュール

力は桁違いで、人気を集めることは間違いないが、今年は全国で「無敗の」というような肩書きを持つ大物が出現している。超豪華メンバーのダービーグランプリは必見のレースとなるだろう。

●おくやみ

村上昌幸調教師が8月25日にお亡くなりになった。1970年に騎手免許を取得、デビュー3年目から10年連続リーディング

グ(岩手県競馬組合史上最長連続記録)となり、スリーパレード、テットテンパーといった数々の名馬に騎乗。岩手が籍時の天皇賞馬テンメイの主戦でもあった。1988年度からは調教師に転じ、リーディングトレーナー3回、今年3月に地方通算1500勝。近年では2年連続の年度代表馬となったナムラタイタンが活躍した。半世紀以上にわたり、岩手競馬の中心的存在であったといえる。

文●深田桂一 (ケイシュウNEW)

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2023年6月～2023年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/4	早池峰スーパープリント(3歳以上)	水沢850	キラットダイヤ(牝6)	鈴木 祐	岩手・板垣吉則
6/11	東北優駿(岩手ダービー)(3歳)	水沢2000	ミニアチュール(牝3)	山本政聡	岩手・佐藤祐司
6/20	一條記念みちのく大賞典(3歳以上)	水沢2000	ヴァケーション(牡6)	村上 忍	岩手・畠山信一
6/25	ウイナーカップ(3歳)	盛岡1400	ケンジャ(牡3)	山本政聡	岩手・伊藤 和
7/2	岩鷲賞(3歳以上)	盛岡1200	トーセンキャロル(牝4)	高橋悠里	岩手・佐藤浩一
7/9	オパールカップ(3歳)	盛岡芝1700	ラビュリントス(牝3)	本田正重	川崎・内田勝義
7/11	ひまわり賞(オウクス)(3歳牝)	盛岡1800	ミニアチュール(牝3)	山本聡哉	岩手・佐藤祐司
7/17	マーキュリーカップJpnⅢ(3歳以上)	盛岡2000	ウィルソンテソーロ(牡4)	川田将雅	JRA・小手川準
7/23	ハヤテスプリント(3歳)	盛岡1200	スタードラマー(牡3)	吉原寛人	大井・須田和伸
7/30	せきれい賞(3歳以上)	盛岡芝2400	ヴィゴレー(牡5)	矢野貴之	大井・高野 毅
8/1	若鮎賞(2歳)	盛岡芝1600	ユウユウプブリエ(牝2)	菅原辰徳	岩手・佐藤祐司
8/6	やまびこ賞(3歳)	盛岡1800	ルーンファクター(牡3)	坂口裕一	岩手・千葉幸喜
8/13	いしがきマイルーズ(3歳以上)	盛岡芝1600	ルヴァン(牡6)	岩本 怜	岩手・千葉幸喜
8/15	クラスターカップJpnⅢ(3歳以上)	盛岡1200	リメイク(牡4)	川田将雅	JRA・新谷功一
8/20	ビギナズカップ(2歳)	水沢1400	フジユーゾーン(牡2)	村上 忍	岩手・瀬戸幸一
8/27	ビューチフルドリームカップ(3歳以上牝)	水沢2000	ノーブルシルエット(牝5)	笹川 翼	大井・佐野謙二

金沢競馬

場番号 41#

写真●石川県競馬事業局

●11連勝ショウガタツプリが初遠征

ショウガタツプリ(牝3、高橋俊之厩舎)の初遠征は悔しい結果に終わった。

高橋俊之調教師は以前から「いずれは南関東へ挑戦」と目標を掲げて東京2歳優駿牝馬やジャパンダートダービーJpnIに登録したがタイミングが合わず断念していた。

ところが石川ダービー後の回復が予想以上に早かったことから、7月9日の3歳牝馬重賞・加賀友禅賞でデビューから無キズの11連勝を達成すると、8月16日の黒潮盃(3歳地方全国交流・大井1800メートル)への遠征に踏み切った。

大井初見参のショウガタツプリは初の



6月27日 石川ダービー ショウガタツプリ

長距離輸送にも耐えて前走時からマイナス5キロと好状態をキープ。ケンタッキーダービー GI帰りのマンダリンヒーロー、東京ダービー2着のヒーローコールに次ぐ単勝3番人気に推された。手綱を任された吉原寛人騎手は先手が予想されるヒーローコールの背後につけてマークする作戦だった。

●悔しさと収穫もあった6着

ゲートが開いた直後マンダリンヒーローと接触したが、怯むことなく立て直して追いかけた。そのまま好位をキープできるかと思われたが、大外からウインドフレイバーが盛んに仕掛けてハナに立ち

ペースを落とした。すると先団は団子状態になってしまい、ショウガタツプリは四方八方囲まれて抜け出せない状況になってしまった。

先団がばらけてようやく外に持ち出せたのは4コーナー手前で、直線大外から追い上げたものの6着がいっぱいだった。

「レース展開に運がなかった。この馬の走りができなかった」と悔しさをにじませた吉原騎手。だが「思っていた以上に直線は頑張っていたし、輸送もこなせることが分かった」と収穫もあった。無敗記録が途絶えたことでむしろプレッシャーはなくなった。初の敗戦は今後の勝利につながるはずだ。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2023年6月～2023年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/4	百万石賞(3歳以上)	2100	ハクサンアマゾネス(牝6)	吉原寛人	金沢・加藤和義
6/18	日本海スプリント(3歳以上)	900	オヌシニモノ(牡6)	栗原大河	金沢・佐藤 茂
6/27	石川ダービー(3歳)	2000	ショウガタツプリ(牝3)	吉原寛人	金沢・高橋俊之
7/9	加賀友禅賞(3歳牝)	1400	ショウガタツプリ(牝3)	沖 静男	金沢・高橋俊之
8/8	読売レディス杯(3歳以上牝)	1500	クワファアチャラ(牝6)	田中 学	北海道・田中淳司
8/27	イヌワシ賞(3歳以上)	2000	ラッキードリーム(牡5)	下原 理	兵庫・新子雅司
8/29	石川テレビ杯(2歳)	1400	ダヴァンティ(牝2)	栗原大河	金沢・佐藤 茂

笠松競馬



場番号 42#

写真●岐阜県地方競馬組合

●スター候補ワラシベチョウジャ

東海ダービーが終了し、トップホースたちが夏休みやミニ充電に入る夏シーズン。ファン、関係者の注目度がおのずと高まるのが2歳戦線である。2023年の笠松競馬は、平年よりやや遅れ、6月23日の新馬戦2鞍から約1年後のダービー馬を目指し、フレッシュな若駒たちの戦いがスタートした。

8月4日現在、計5レースの新馬戦(距離800メートル)が実施され、初陣を勝利で飾ったうち4頭が50秒を切る優秀な時計をマークした。例年以上に粒ぞろいで将来性、可能性を秘めたタレント候補たちが多い好感触。21年から3年連続して名古屋勢が頂点を極める東海ダー



秋風ジュニアで3連勝を決めたワラシベチョウジャ

ビー馬の座へ、来年こそあの期待やいい予感が抱けそうだ。

若駒たちが初めて迎えた準重賞・秋風ジュニア(8月18日・1400メートル)では、新馬勝ち5頭が早くも顔をそろえて、出世争いを競った。テンからハイペースで推移した流れを、ワラシベチョウジャ(牝・笹野博司厩舎)が好位2番手から早めに先頭に立ってそのまま押し切り、2着アコフ(牝、伊藤強一厩舎)に2馬身半差つける快勝劇で見事、仕留めた。

デビューから無傷の3連勝を飾り、スター候補へ真っ先に名乗りを上げたワラシベチョウジャに「息が入りにくい苦しい展開でしたが最後まで頑張ってくれました。勝負根性もありますね」と渡邊竜也騎手はねぎらった。一方、管理する笹



6月9日 飛山濃水杯 ヒロシゲウェーブ

野博司調教師は「どこからでも競馬ができますし、走りにムダのない馬」と完成度の高さにも目を細めていた。

ただ若駒戦線は1コーナーを回ったあたりで、始まったばかり。活況や佳境を迎える秋、冬シーズンはますます目が離せなくなりそうだ。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2023年6月～2023年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/9	飛山濃水杯(3歳以上)	1400	ヒロシゲウェーブ(セン7)	加藤聡一	名古屋・今津博之
6/22	クイーンカップ(3歳牝)	1600	ベップセ(牝3)	浅野皓大	名古屋・今津勝之
7/6	サマーカップ(3歳以上)	1400	パールプレミア(牝5)	笹田知宏	兵庫・新子雅司
8/3	撫子争覇(3歳以上牝)	1400	レイジーウォリアー(牝4)	丸野勝虎	名古屋・塚田隆男
8/16	くろゆり賞(3歳以上)	1600	スマイルサルファー(セン5)	大山真吾	兵庫・渡瀬寛彰
8/30	岐阜金賞(3歳)	1900	ベップセ(牝3)	浅野皓大	名古屋・今津勝之

名古屋競馬

場番号 43#

●若手人馬コンビが躍進

夏休み中の東海ダービー馬セブンカラーズがケガのため手術を行い、今後のスケジュールが白紙になるまさかのニュースもあったが、夏シーズンも名古屋から新たなヒーロー、ヒロインが次々に誕生した。

念願のタイトルホースへ、3頭が仲間入りを果たした。6月の笠松・飛山濃水杯ではベテランの7歳馬ヒロシゲウェーブが持ち前のしぶとい走りで初戴冠。

そしてトリトン争覇で4歳牝馬ブリーザフレスカが中団外から豪快なロングスパートで一蹴。コースレコード更新のお



6月15日 トリトン争覇 ブリーザフレスカ

まけつきのぶっちぎりランで、騎乗した塚本征吾騎手ともどもうれしい初の重賞制覇を成し遂げた。「ズブいタイプですが、向正面からずっと上がっていったので4コーナーではもう勝てるかなと。目標のひとつ、重賞を勝ててみなさんに、ほんと感謝です。今後はもうひとつの目標、年間100勝目指して頑張りたい」と若武者は声を弾ませた。

東海ダービー6着のペップセはともに笠松の地だったが、6月クイーンカップで重賞初Vを果たすと、勢いそのままに8月岐阜金賞を完勝。秋以降のタイトル戦線へ、大きくアピールした。「小さい馬（岐阜金賞参戦時428キロ）だけど、どんな競馬もできてレースがうまいね」と今津勝之調教師はホオを緩ませていた。ペップセと同様、浅野皓大騎手にとっても、うれしい初タイトル獲得と重賞2勝



ペップセが笠松・岐阜金賞で重賞連勝

目だった。「(同年代の塚本) 征吾に追いつけ、追い越せの気持ちで頑張りました」と浅野騎手はクイーンカップ後のインタビューで熱く宣言。そして岐阜金賞で重賞2勝目を先に達成した。

重賞めじろ押しになる秋競馬。上り馬に、成長著しい若手騎手たちのプレーよりもレースのポイントとなりそうだ。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2023年6月～2023年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/15	トリトン争覇(3歳以上)	1700	ブリーザフレスカ(牝4)	塚本征吾	名古屋・塚田隆男
7/17	名港盃(3歳以上)	2000	ナムラマホーホ(牡6)	岡部 誠	名古屋・藤ヶ崎一人
8/22	ベイスプリント(3歳以上)	920	アルカウン(牝6)	澤田龍哉	金沢・井樋一也

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

●夏競馬を振り返る

3歳世代の頂点を決める兵庫ダービーは、吉村智洋騎手が騎乗したスマイルミーシャが向正面から一気にスパートして菊水賞馬ベラジオソノダラブとの一騎打ちを制した。牝馬による制覇は10年ぶりだった。のじぎく賞も2コーナーからロングスパートで制したように、類いまれなるスタミナは近年のダービー馬の中でも傑出している。今後は兵庫クイーンカップなど中長距離路線での活躍が期待される。

2歳路線は重賞日程が前倒しされ、8月10日に新設の兵庫ジュベナイルカップ、同31日に兵庫若駒賞が行われたが、両



6月14日 兵庫ダービー スマイルミーシャ

レースともに制したのはマミエミモモタロー。センスの高さは調教から手がける兵庫の最年長、川原正一騎手が認めるところ。前者は同騎手にとって3年3カ月ぶりの重賞制覇で、的場文男騎手(大井)が保持していた地方競馬の重賞最年長勝利記録を塗り替えると、後者の勝利で64歳5カ月18日へとさらに更新した。

久々の重賞制覇といえば摂津盃を制したツムタイザン。2歳時の園田ジュニアカップ以来、約2年7カ月ぶりだった。3歳時は屈腱炎で棒に振ったが、木村健厩舎に転厩して4歳春に戦列復帰してから着実に成長して、5歳で再び咲いた。古馬ではその他にもツムタイザンと同世代の兵庫ダービー馬スマイルサルファー



8月31日 兵庫若駒賞 マミエミモモタロー

がくろゆり賞(笠松)を制し、六甲盃で兵庫初黒星を喫したラッキードリームがイヌワシ賞(金沢)でリベンジを果たすなど各地で活躍した。この秋も、さきたま杯JpnⅡを制したイグナイターがJpnⅠ制覇を目指すことを筆頭に、ハイレベルな戦いが見られそうだ。

文●松本健史(大阪日刊スポーツ)

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2023年6月～2023年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
6/1	六甲盃(4歳以上)	園田2400	グリードバルフェ(牡7)	赤岡修次	高知・田中 守
6/14	兵庫ダービー(3歳)	園田1870	スマイルミーシャ(牝3)	吉村智洋	兵庫・飯田良弘
6/22	園田FCスプリント(3歳以上)	園田820	メイプルシスター(牝4)	永井孝典	兵庫・大山寿文
7/14	兵庫サマークイーン賞(3歳以上牝)	園田1700	ハフサンアマゾネス(牝6)	吉原寛人	金沢・加藤和義
8/10	兵庫ジュベナイルカップ(2歳)	園田1400	マミエミモモタロー(牡2)	川原正一	兵庫・諏訪貴正
8/11	摂津盃(3歳以上)	園田1700	ツムタイザン(牡5)	杉浦健太	兵庫・木村 健
8/31	兵庫若駒賞(2歳)	園田1400	マミエミモモタロー(牡2)	川原正一	兵庫・諏訪貴正

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●夏の王者に君臨

7月16日の『第20回トレノ賞』(1300メートル)、8月20日の『第46回建依別賞』(1400メートル)は夏競馬の象徴的な存在である重賞。過去、両レース制覇を成し遂げた馬はいたが、今年はアポロティアモがその仲間入りを果たした。以前は揉まれ弱い面があったものの、枠順の並びや吉原寛人騎手の好リードに導かれ2戦とも好位抜け出しの盤石な競馬を披露。他馬に付け入る隙を与えなかった。なお5月の福永洋一記念からの重賞3連勝は2021年のスペルマロン以来2頭目の快挙であり、同馬はどオールマイティ



8月20日 建依別賞 アポロティアモ

なタイプではないにしろ賞賛に値する走りだったことを忘れてはなるまい。秋はどういうレース選択となるのかも含め、その動向に注目したい。

●三冠は単なる通過点

8月27日に行われた『第27回黒潮菊花賞』(1900メートル)でユメノホノオが高知競馬では14年ぶり4頭目となる3歳三冠を達成した。6月の『第51回高知優駿』(1900メートル)では南関東を筆頭とした遠征馬をも完封し8連勝で二冠制覇。黒潮皐月賞2着、高知優駿3着のデステージョが準重賞を連勝し再び挑んできたが、力の違いは衆目の一致するところで、単勝は直前まで元返しと楽勝ムードが漂っていた。スタートではこれまでに以上の大出遅れで場内が騒然としたが、そこからのマクリはいつも通り。高



8月27日 黒潮菊花賞 ユメノホノオ

知優駿をコンマ2秒上回るタイムでゴールを駆け抜けた。今後、さらなるステージで戦うにはスタートの改善が必要かもしれないが、それを補って余りあるスケールの持ち主。地元にとどまらない活躍が期待される。ユメノホノオには敗れたが、デステージョは2着でも3着とは9馬身差であり、高知優駿から大幅にタイムも短縮。同馬も近年稀に見る器であることは間違いない。

文●風間恒一(中島高級競馬塾)

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2023年6月～2023年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性別)	騎手名	所属・調教師名
6/18	高知優駿(3歳)	1900	ユメノホノオ(牡3)	吉原寛人	高知・田中 守
7/16	トレノ賞(3歳以上)	1300	アポロティアモ(牡6)	吉原寛人	高知・田中 守
8/20	建依別賞(3歳以上)	1400	アポロティアモ(牡6)	吉原寛人	高知・田中 守
8/27	黒潮菊花賞(3歳)	1900	ユメノホノオ(牡3)	吉原寛人	高知・田中 守

佐賀競馬



場番号 61#

写真●佐賀県競馬組合

●ネクストスター初代王者は?

2歳路線は、ネクストスター佐賀(10月1日)の創設に伴い、昨年まで10月実施だった九州ジュニアチャンピオンは9月3日に移設された。新馬戦(ホープフルデビュー)のうち6月までの6競走(うち九州産限定1競走)は、より賞金の高い“スーパーホープフルデビュー”として行われた。5月21日の初戦を勝利したフェノーウルフをはじめ佐賀から4頭がJRA小倉・フェニックス賞へ挑戦したが、最先着は6着グッドタイミングで掲示板内進出はならなかった。一方、ムーンオブザサマーが7月2日の新馬戦、アルタイル特別、デネブ特別と3連勝。フェニ



8月20日 九州チャンピオンシップ ミスカゴシマ

ックス賞挑戦組と、ネクストスター佐賀の初代王者を争う構図となりそうだ。

●年末の一番・中島記念

古馬中距離路線は、今年の九州大賞典2着だったタガノファジョーロが佐賀王冠賞で重賞初勝利。九州チャンピオンシップは短距離で活躍していたミスカゴシマが勝利を挙げた。両レースとも2着はヒストリーメイカー。佐賀の重賞で3戦連続2着と、地元初勝利にあと一步届かないレースが続いている。

リュウノシンゲンは、佐賀スプリングカップ勝利後は短距離を使われ、吉野ヶ里記念連覇を達成。今年の九州大賞典3着は2500メートルの距離が敗因だった



7月23日 吉野ヶ里記念 リュウノシンゲン

だけに、今秋は佐賀オートムスプリント、ウインターチャンピオンの短距離路線を歩みそう。しかし、最大目標は年末の中島記念連覇。どこで中距離に矛先を向けてくるかに注目したい。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2023年6月～2023年8月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性別)	騎手名	所属・調教師名
6/11	佐賀がばいダッシュ(3歳以上)	900	スーパースナッツ(牝8)	金山昇馬	佐賀・真島元徳
6/25	佐賀ユースカップ(3歳)	1400	ブレイブアモーレ(牡3)	石川慎将	佐賀・手島勝利
7/9	佐賀王冠賞(3歳以上)	2000	タガノファジョーロ(牡7)	田中 純	佐賀・九日俊光
7/23	吉野ヶ里記念(3歳以上)	1400	リュウノシンゲン(牡5)	山田義貴	佐賀・山田 徹
8/13	ロータスクラウン賞(3歳)	2000	ブレイブアモーレ(牡3)	石川慎将	佐賀・手島勝利
8/16	霧島賞(九州産3歳以上)	1400	イチザウイナー(牡4)	山下裕貴	JRA・大橋勇樹
8/20	九州チャンピオンシップ(3歳以上)	1750	ミスカゴシマ(牝6)	金山昇馬	佐賀・平山宏秀
8/31	サマーチャンピオンJpnⅢ(3歳以上)	1400	サンライズホーク(セン4)	M.デム-ロ	JRA・牧浦充徳

競馬場別 騎手リーディング *Top3*

(2023年1月1日～8月8日)

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	鈴木恵介	648	120	82	55	18.5	31.2	70,361,500
2	島津 新	607	86	61	42	14.2	24.2	48,574,500
3	菊池一樹	613	72	59	76	11.7	21.4	46,493,500

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山本聡哉	303	91	51	35	30.0	46.9	102,195,000
2	高橋悠里	482	76	77	50	15.8	31.7	79,839,000
3	村上 忍	442	74	68	51	16.7	32.1	76,986,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉原寛人	161	55	37	23	34.2	57.1	59,889,000
2	栗原大河	384	54	43	45	14.1	25.3	50,663,000
3	青柳正義	301	53	49	39	17.6	33.9	47,866,000

東海地区(笠松競馬・名古屋競馬)

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	753	161	123	102	21.4	37.7	152,205,000
2	渡邊竜也	464	122	79	47	26.3	43.3	96,288,000
3	丸野勝虎	590	97	71	79	16.4	28.5	100,300,000

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	渡邊竜也	404	119	72	43	29.5	47.3	77,805,000
2	藤原幹生	435	54	52	42	12.4	24.4	40,970,000
3	岡部 誠	226	41	40	32	18.1	35.8	46,123,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	527	120	83	70	22.8	38.5	106,082,000
2	加藤聡一	528	79	74	56	15.0	29.0	77,056,000
3	丸野勝虎	470	78	56	67	16.6	28.5	79,089,000

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	717	194	145	92	27.1	47.3	319,677,000
2	下原 理	656	127	84	78	19.4	32.2	253,255,500
3	田中 学	581	118	83	65	20.3	34.6	220,256,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	赤岡修次	295	110	39	29	37.3	50.5	170,977,500
2	宮川 実	273	76	57	39	27.8	48.7	123,270,000
3	永森大智	360	63	48	52	17.5	30.8	102,937,500

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	飛田愛斗	492	77	65	73	15.7	28.9	82,579,000
2	山田義貴	459	69	48	52	15.0	25.5	71,841,500
3	山口 勲	336	67	56	41	19.9	36.6	79,380,500

10月～12月 注目レース 笠松競馬 データ分析

11/21 笠松グランプリ

●南関東など他地区優勢

◇笠松1400mは2019年9月からフルゲートが2頭増え12頭立てが可能に。当レースの他地区枠は5頭のまま(22年現在)だが、昨年までの過去4回では、【4・3・3・10】とそれ以前と同様に好成績。過去10回で、他地区勢は岩手が3勝を挙げ

実施日	レース名(条件)	距離	22年の勝ち馬(所属)
10/12(木)	ネクストスター笠松(2歳)	1400m	※新設重賞
11/9(木)	ラブミーチャン記念(2歳牝)	1600m	ボヌールパローズ(大井)
11/21(火)	笠松グランプリ(3歳以上)	1400m	ルーチェドーロ(川崎)
12/30(土)	ライデンリーダー記念(2歳)	1400m	エムエスドン(名古屋)
12/31(日)	東海ゴールドカップ(3歳以上)	1900m	ウインユニファイド(名古屋)

東海地区の3歳は全馬が10月には古馬編入。年末にかけて笠松の古馬SP1重賞は、中距離は東海ゴールドカップで、短距離が地方全国交流の笠松グランプリ。同時期に

各地で短距離重賞が少ないこともあり、1000万円の高額賞金を誇るここにハイレベルな馬たちが参戦している。本欄では過去10回の笠松グランプリから傾向を見ていく。

ているが、15～17年のラブバレット1頭の実績だ。南関東【2・6・4・5】、高知【2・1・1・2】、兵庫【2・1・1・7】が複数回勝利をマークしている。特に南関東は遠征があった9回中8回で3着以内に入っており、22年は川崎→浦和→川崎で上位を独占した。

◇単勝1～3番人気が8勝、2着9回で17頭が連対しているが、3着は3頭のみで

8番人気も3頭。3連勝式ではやや波乱になることもある。前走別で相性がいいのが、ゴールド争覇(名古屋1500m)と兵庫ゴールドカップ(園田1230m)。ともに地方全国交流で2017年から重賞となったが、1着から臨んだ馬はそれぞれ【2・0・2・0】と【1・1・0・1】。また前走が大井のレースだった馬も【3・3・3・6】の好成績を収めている。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性別	年齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
22.11.29 笠松1400m 雨・不良 9頭	6	6	ルーチェドーロ(川崎)	牡	4	57	御神訓	池田孝	1.26.6	4	3-3-4-2	大井・オープン(競走中止)	さきたま杯 JpnII⑥
	5	5	アポロビビ(浦和)	牡	6	57	左海誠	小久智	1/2	3	7-7-1-1	ながつきS⑨	京葉S②
	3	3	ベストマッチョ(川崎)	セン	9	57	吉原寛	佐々仁	アタマ	5	1-1-2-4	ゴールド争覇①	アフター5スター賞⑥
21.11.24 笠松1400m 晴・稍重 12頭	4	4	ダノングッド(高知)	牡	9	57	多田誠	別府真	1.27.2	2	3-3-3-3	ゴールド争覇①	園田チャレンジC②
	3	3	コパノフィリング(船橋)	牝	4	55	森泰夫	新井清	2	1	2-2-2-1	兵庫ゴールドC①	アフター5スター賞⑥
	8	12	アザワク(北海道)	牝	4	55	桑村真	角川秀	3/4	4	1-1-1-2	道営SP①	門別・準重賞①
20.12.3 笠松1400m 晴・良 12頭	3	3	エイシエンジョイ(兵庫)	牡	5	57	下原理	橋本明	1.26.0	5	1-1-2-3	兵庫ゴールドC①	園田チャレンジC④
	1	1	ウインオスカー(川崎)	牡	7	57	赤岡修	河津裕	ハナ	8	4-4-1-2	OROターフSP(芝)③	さきたま杯 JpnII ⑩
	7	9	ナリタミニスター(兵庫)	牡	5	57	吉村智	坂本和	1	1	3-3-5-4	ゴールド争覇①	園田・A1A2④

ジョッキーインタビュー

取材・文●浅野靖典

渡邊竜也騎手は2017年4月26日に初勝利を挙げ、その年末までに笠松で35勝、名古屋で2勝、そしてヤングジョッキーズシリーズのトライアルラウンド金沢でも勝利して、ファイナルラウンドにも進んだ。その後は3年目と4年目の笠松で2位になり、2022年は初のリーディングとなった。

表現的にいいのかわかりませんが、順調にステップアップできている感覚はありますね。2021年はヒジをケガして、その年の冬はちょっと痛かったですが、今年は大丈夫でした。それ以外は大きなケガがないですね。ありがたいことです。

渡邊騎手が育った場所は船橋競馬場から徒歩圏内。地方競馬教養センターでは船橋所属を希望していた。

競馬場に知り合いがいるわけではなかったのですが、船橋の先生が名乗りを上げてくださいました。でも最終面談みたいなときに先生から「船橋は騎手が多いから、なかなかレースに乘れないと思うぞ」と言われまして、そこで考え直すことにしたんです。やっぱり騎手になるからにはたくさん乗りたいですからね。それで教官に相談したら「笠松は騎手が少ないからチャンスがある」と教えていただいて、所属できる厩舎も見つかったので笠松所属になりました。でも競馬場実習で初めて笠松競馬場に来たときは、いろいろなものが想像よりも古くて「大丈夫なのかな」と思いましたね。でも住めば都という感じで、すぐに慣れました。

2022年は笠松で164勝して、2位の騎手との差は73勝。今年も2位以下に圧倒的な差をつけている。さらに今年の1番人気馬での連対率は、8月20日現在で昨年来を大きく上回る82.3%となっている。

事前に専門紙のシルシは見ます。相手関係の雰囲気を含めて、レース前にいろいろと考えます。でもいちばんに考えているのは、自分が納得できる競馬をしたいということ。レースは思ったとおりの形にならないことも多いのですが、自分のイメージ通りに乗れたときの満足度はとても高いです。

渡邊騎手が所属しているのは笠松リーディングの笹野博司厩舎。調教を担当する馬の



写真●兵庫県競馬組合

ニジイロで制した21年兵庫クイーンセレクション

数も多い。

普段は30頭を少し下回るくらいですが、今（2023年8月）は教養センターから騎手候補生が来ているので20頭くらい。冬は岩手や金沢などから期間限定で騎手が来てくださるので、体は楽になります。ただ、今年の春から調教時間が早くなったんですよ。小学生の通学時間が始まる前に終わらせることになって、1鞍目は夜中の12時。今の時期はよくても、その基準だと冬も同じスタート時間になりますよね。どうなるのかちょっと怖いですが。

今年は例年より名古屋競馬場への参戦が少ないが、それでも1月4日の名古屋記念では名古屋所属のメルトで勝利を挙げた。

（メルトを管理する）角田輝也先生にはときどき声をかけていただくんですよ。ありがたいと思っています。川西毅先生には2021年の兵庫クイーンセレクションでニジイロを依頼していただいて勝つことができました。ニジイロはライデンリーダー記念のときに興奮している姿を見ていたので心配していましたが、最後の脚には驚かされました。道中で外のほうを通らせて、のびのびと走らせることができたのがよかったのかなと思います。

そういった重賞での勝利を含めて8月24日に達成した通算700勝は通過点。次の目標を伺った。

本当は2021年の春に『デビュー5年目までの各競馬場でのリーディング5位以内』の枠を使って浦和競馬場で期間限定騎乗をさせていただくことになっていたんですよ。でもその年の1月から不祥事で開催がストップ。その期間は遠征にも行けないので、その話も当然ですが、流れてしまいました。そして翌年は6年目になるので申し込めないという……。だから今はなるべく早く通算1000勝を達成して、南関東に行くのが目標です。でも、仮に今すぐに行けるとなっても、自厩舎の様子的に僕が抜けると厳しいかなというところがあるので、その意味でも若手騎手が増えてくれるとありがたいです。といっても、若手を育てるのは大変だなと実感しているところではあるんですが。

笠松競馬場の所属騎手は、8カ月にわたる開催中止から再開したときに9名。現在は新人の松本一心騎手と北海道から移籍してきた馬淵繁治騎手が加わって11名となっている。

今年は佐々木竹見カップと地方競馬ジョッキーズチャンピオンシップに出られて、本当にいい経験ができています。予定通り船橋に所属していたらとても出られないで

渡邊竜也（笠松）

わたなべ たつや



2000年3月8日生まれ うお座 A型
千葉県出身 笹野博司厩舎
初騎乗／2017年4月3日
地方通算成績／4,362戦700勝
服色／胴青・緑V字たすき、袖青・白格子柄
重賞勝ち鞍／くろゆり賞、飛山濃水杯、名古屋記念、兵庫クイーンセレクションなど7勝
※2023年8月25日現在

しょうから、教養センターの教官に笠松を勧められたおかげです。ただ、佐々木竹見カップのときは左回りコーナーでの遠心力に対応できませんでした。盛岡競馬場はカーブがわりとゆるいのであまり気にならなかったんですが。やっぱり左回りには違和感がありますね。それでも違う競馬場で乗れる機会は多くないので、また出たいと思います。トップジョッキーが集まるレースは雰囲気違いますし、スタートからゴールまでスキがなかったです。

渡邊騎手はお笑いトリオ、ジャングルポケットの斉藤慎二さんがオーナーの『オマセシマシタ』の主戦騎手でもある。

8月16日に走って、そのあと牧場に移動して立て直しています。とにかく、ひとつ勝たせることができてよかったです。勝ったあとは厳しい成績が続いていますが、なんとかしたいと思っています。

今後の課題として考えていることについて伺った。

最近になって同じ部分を痛めることが多いんですよね。おそらく姿勢から来ているのだと思います。それを改善できるように、アプミの長さを変えてみるなど、いろいろと試しているところです。それと、きわどい勝負になったときに姿勢が崩れることがあるように感じるの、そのあたりも含めて改善していきたいと考えています。そして気持ちもうまくコントロールしていきたい部分。開催初日は気合が入りすぎていかなあという自覚があるんです。それから勝ったり負けたりを繰り返して、だんだんと気持ちが落ち着いて、最終日が近づくにつれて肩の力がいい感じに抜けていきます。その肩の力が抜けている感覚で初日から乗ればいいんですけどね。でも常にそういう精神状態でいられるようにと意識して、レースに臨んでいるところです。

笠松の馬話

竹中嘉康さん(競馬エース)

取材・文●浅野靖典



笠松競馬場は1934年の開設で、地方競馬の専用施設のなかでは相当に長い歴史を持っている。この地でデビューして、のちに全国区で活躍した馬が多いことは、笠松競馬を語るときに必ず触れられる大きな特徴だ。その笠松競馬に子供のころからよく来ていたという、競馬エースの竹中嘉康さんに話を伺った。

数々の活躍馬が巣立った笠松競馬

笠松競馬場には子供の頃から父に連れられて来ていました。40年以上も前ですからお客さんも多くて、常にお祭りみたいな感じでしたよ。私が競馬エースに入ったのは24歳くらい。いつものように遊びに来て、買った競馬エースに社員募集の文字があったので応募して、それで採用してもらいました。最初のころは編集で、その後に笠松の記者になりました。思い出の馬というと、ベタですけれどもやっぱりオグリキャップですね。中央競馬での初戦となったペガサステークスは、当時は日曜日で開催していた笠松競馬場のテレビで見た記憶があります。記者になってからの馬といえばライデンリーダーですね。笠松所属のままで挑戦した桜花賞の追い切り時計は私が採ったんですよ。完全に自分ひとりに任された形だったので、とても緊張したことを思い出します。

そのほかにも笠松からはトシノポルンガとかラブミーチャンなど、たくさん活躍馬が出るんですよね。この要因にはいろいろな説があって、離れた場所にある厩舎と競馬場の間にある土手の上り下りで腰が鍛えられるとか、名鉄電車の音がけっこう大きい環境だから精神面が鍛えられるとか。個人的にはあまり関係ないような気もするんですが、それでも特殊な環境であることは間違いなくと思います。

でも最近の笠松はレベル的にちょっと厳しいですね。一時期、賞金が3着までしか出なかったこともあって、強い馬が来なくなってしまった感じがします。昔は笠松の馬のほうが名古屋より強かったのですが、今は笠松に名古屋の馬が遠征してきたかなりの確率で勝たれてしまいます。ただ、以前から馬券の売り上げについては名古屋に比べると悪くないんですよ。笠松の特徴として、1人あたりの購入額が大き

いという点が挙げられます。いま思い出してみても、昔からお客さんが少ない割には売り上げがあったなあ。

ただ、施設はオグリキャップが走っていた30年以上前と同じ。廃墟っぽくなっている場所もありますし、20年くらい前に廃業した軽食堂の設備もそのまま残っていますからね。そういう昭和モダンという感じがするスタンドは味があって、私はとても好きなのですが、このままというわけにはいかないのはもちろんですね。ただ現在は、競馬場から離れた場所にある厩舎を競馬場のすぐ横に移転させる計画が先に進められているようです。



写真●NAR

オグリキャップ(左から2頭目)が制した89年オールカマー

偉大なるオグリキャップの功績

そのほかにも笠松競馬がいろんな問題を抱えているのは確か。だから廃止になっていてもおかしくなかったと思うんです。でも笠松はこれまで、廃止に向かう動きというのがほとんど起こっていないんですよ。個人的に感じるのは、競馬場周辺の人は競馬を“文化”だと思っているのではないかと。もう90年も馬が一般道を歩いていますから、地域みなさんが馬を見慣れているといえますか。

それとやっぱりオグリキャップの功績ですね。あれで競馬が一気に市民権を得たという感じがしますし、笠松という小さな町から全国を沸かす存在が出たことを誇りに思っている面があると思います。馬券が売れなくて賞金が安かったあの厳しい時代を耐え抜いたわけですが、その原動力のひとつには、名馬を出した笠松競馬の灯を消してはいけないという思いがあったような気がします。

そういう風土があるからか、あの不祥事が起こったときも競馬場をなくしてしまえ、という空気にはならなかったですね。笠松

のみなさんは競馬に対して本当に優しいと思います。ただ、最近になって住宅が増えてきたことで、ちょっと違う気持ちを持っている人も出てきているようですが……。

競馬は廃止されなかったですが、賞金が下がった後遺症といえますか、そういうものは残っていますね。そのひとつに挙げられるのが厩務員さんの減少。最近は外国人が入ったこともあって増えていますが、まだまだ足りていません。最近は入厩の希望が多くなっているのに人手不足で断っている厩舎もあります。その影響でレースが少頭数になることも多くて、今年冬の5日間開催では12レースを組むことができませんでした。ただ、最近3日間開催が多くなったことで頭数も揃って、馬券の発売額もよくなっていると思います。

再開後、競馬の中身に変化が

しかし2021年の8カ月の開催中止は本当に厳しかったですよ。その期間は本来の仕事がないのですから、やったことといえば名古屋の専門紙の配達くらい。調教は続けられていたのを見に来たこともあります。レースに向かった調教ではないから時計を採るわけでもなく、ただボーっと見ただけでした。

その時期を乗り越えての再開後は、競馬の中身が変わったと感じます。もっとも大きい変化は、接戦が多くなったこと。以前は出走馬が前と後ろに分かれる形になってそのまんま、ということがよくありました。でも今は賞金が上がってきたこともあって、騎手の乗りかたも変わってきました。若手騎手が増えてきたことも要因のひとつといえますね。今は11名いて、2人の騎手候補生が研修中。この2人が笠松でデビューしてくれたら13人のうち7人が25歳以下。これはおそらく笠松競馬が始まって以来のことだと思います。

若手といえば、競馬場の職員もそう。番組編成の担当者にも若い人が増えて、出走馬の組み合わせが変わってきました。その効果のひとつが『C級サバイバル』に代表される興味深い設定のレース。競馬が好きな若手職員が数人いて、その人たちが全体を引っ張ってくれています。

その一方で40年以上も笠松競馬を見ている人間としては、笠松らしい牧歌的な雰囲気や空気感はなくなってほしくないなあと思いますね。一般道路を馬が歩くのもそうですし、笠松にはなんというか“ゆるい”空気があるんですよ。その一方で、不祥事の影響でレースの合間に取材できなくなったのは記者としてツライところで、そういう点は厳しすぎるかなあとは思っています。それでも専門紙は有用な情報をどれだけ載せられるかが存在価値。そのことは常に考えています。

笠松競馬場

サイヤーランキング

2021年8月1日～2023年7月31日

取得賞金ランキング

勝利数ランキング

■総合(1987レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
マジェスティックウォリアー	45,148	35	189	25	セイカメテオボリス
アイルハヴァアナザー	41,487	32	173	13	ウインハピネス
トーセンブライト	32,886	11	111	11	トーセンブル
マクフィ	32,073	21	159	19	エムティアンジェ
ダイワメジャー	31,265	45	231	27	ヒロシゲウェーブ
キンシャサノキセキ	27,243	17	133	19	ウインユニファイド
グランプリボス	26,664	34	297	28	スマイルジョナス
オルフェーヴル	26,117	33	249	21	タニノタビト
エスポワールシチー	25,948	18	150	16	クリノメガミエース
フリオーソ	25,154	39	303	27	ペイシャラメント

■800m(97レース)

トーセンブライト	3,600	3	4	3	ドミニク
トーセンレーヴ	3,550	2	3	3	トーセンプリシラ
マクマホン	3,270	2	11	8	スタンレー

■1400m(1504レース)

マクフィ	24,674	18	124	19	ルーチェドーロ
グランプリボス	22,872	30	244	27	スマイルジョナス
エスポワールシチー	19,094	13	113	13	クリノメガミエース

■1600m(353レース)

アイルハヴァアナザー	14,255	11	42	10	ウインハピネス
ダイワメジャー	9,779	14	42	17	タイセイメガロス
ヘニーヒューズ	8,546	3	26	12	ボヌールパローズ

■1800m(16レース) + 1900m(15レース)

アイルハヴァアナザー	14,225	4	12	4	ウインハピネス
ケーブブランコ	10,950	3	6	2	ロッキーブレイヴ
キンシャサノキセキ	7,900	1	3	2	ウインユニファイド

※2500mは実施数が少ないため割愛した。

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝利回数	活躍馬(勝利回数順)
ダイワメジャー	45	24	231	27	15	オルガンザ
フリオーソ	39	31	303	27	17	ペイシャラメント
ロージズインメイ	37	28	294	20	13	マルヨニキヤ
マジェスティックウォリアー	35	31	189	25	14	ルクスアモール
エイシンフラッシュ	34	42	357	30	15	ケイツーリタス
グランプリボス	34	41	297	28	13	キチロクレディス
オルフェーヴル	33	47	249	21	12	ゲンパチバロネーゼ
ドゥラメンテ	33	22	179	25	13	パイコーン
ヴィクトワールピサ	32	45	253	30	13	トレンチタウン
アイルハヴァアナザー	32	20	173	13	8	コウヒノプリンス

マツリダゴッホ	4	0	10	7	4	ハルルン
ダイワメジャー	3	3	15	6	3	プレリュードノート
アジアエクスプレス	3	2	7	4	2	チュウワフラーワ

フリオーソ	31	25	212	26	15	キセキタイム
エイシンフラッシュ	30	36	294	28	13	ケイツーリタス
グランプリボス	30	34	244	27	13	キチロクレディス

ダイワメジャー	14	3	42	17	8	プレリュードノート
アイルハヴァアナザー	11	2	42	10	4	コウヒノプリンス
ドゥラメンテ	11	2	32	11	6	スズカサンサン

アイルハヴァアナザー	4	3	12	4	2	ウインハピネス
ケーブブランコ	3	0	6	2	1	ロッキーブレイヴ
ノーザンリバー	2	0	2	1	1	ストームドッグ

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

クイーンカップ・岐阜金賞
ペップセ2020年4月2日生まれ 牝 鹿毛 名古屋・津勝之厩舎
生産・大道牧場(蒲河郡蒲河町)

ネロ 栗毛2011	ヨハネスブルグ(USA) 鹿毛1999	ヘネシー(USA) Myth(USA)
	ニシノタカラツカ 栗毛2003	サンデーサイレンス(USA) デュープリント(USA)
ゴールデンレグ 鹿毛2013	ブラックタイド 黒鹿毛2001	サンデーサイレンス(USA) ウインドインハーヘア(IRE)
	ピクトリクエスト 鹿毛2005	ブライアンズタイム(USA) ミセスピクトリア

6月のクイーンCで重賞初制覇を飾ったペップセ。8月には岐阜金賞も制し、ここに来て一気に力をつけている印象だ。今回はこの馬の血統を詳しく見ていこう。

父ネロは京阪杯(芝1200m)を連覇したスプリンター。ダートでの勝利はないものの、東京盃2着、JBCスプリント(大井1200m)では勝ち馬からタイム差なしの4着と、トップクラスの実力を示していた。

ネロはその血統も魅力で、父ヨハネスブルグは2歳時に欧米で芝とダートのGIを4勝し、全欧と米国で同時に2歳チャンピオンに輝いた名馬。後継種牡馬スカットダディは米三冠馬ジャスティファイや高松宮記念のミスターメロディなどを出して世

界的な成功を収めている人気の父系だ。そして牝系は、母の姉に桜花賞、スプリンターズS、阪神3歳牝馬Sを勝った名牝ニシノフラワーがいる名門一族である。

産駒は2022年にデビューし、これまでに2世代が出走。中央・地方で43頭が出走し25頭が勝ち馬となり、勝ち上がり率58%という優秀な数字を残している。今回のペップセの勝利が中央・地方合わせて7戦目にして産駒の重賞初制覇となった。

中央では7頭が勝ち上がり。勝利条件を見ると芝、ダート問わず1600m以下が多いが、代表産駒の1頭で、東京芝2400mの特別戦を勝ったニシノレヴァントは同距離の未勝利戦を追い込んで勝つなど、父のイメージとはかけ離れた走りを見せている。

母ゴールデンレグはJRA・中山のダート1200mで1勝。近親に大物はいないが、牝系を四代母まで遡ると、1982年のエリザベス女王杯を勝ったビクトリアクラウンに辿り着く。さらに遡ると、その母ワールドハヤブサから広がるファミリーは日本を代表する牝系で、1987年から88年にかけて天皇賞・秋、マイルチャンピオンシップ、安田記念を勝ったニッポーテイオー、エリザベス女王杯を勝ったタレントィドガールの他、2012年のヴィクトリアマイルを勝つ



写真●岐阜県地方競馬組合

ネロ産駒として重賞初制覇を果たしたペップセ

たホエールキャプチャなどがあり、現役馬でも東京スプリントなどダートグレード競走3勝のリュウノユキナ、キャピタルSのピースワンパラディなどが活躍している。

母の父ブラックタイドはディープインパクトの全兄であり、キタサンブラックの父として現在もその血を広げる注目の存在。母の父としては今年のファルコンSを勝ったタマモブラックタイの他、地方ではペップセの他に笠松の白銀争覇を勝ったサンロアノーク、佐賀のフォーメルハウト賞を勝ったイケノシイチャンを出している。

母系に代々配された種牡馬を見ると、ブラックタイドの奥にもブライアンズタイム、トニービン、ファバージと、数々の名馬を送った名種牡馬が並んでいる。名種牡馬が並ぶ牝系は、低迷が続いても息を吹き返すということが少なくない。ゴールデンレグの系統も、今後更なる発展を見せることが可能だろう。先の話にはなるが、ペップセが繁殖入りしてから注目していきたい。

DIRT GRADE DATA 作戦

第57回 東京盃 JpnⅡ

10月4日(水)
大井1200m
3歳以上
1着賞金3500万円
フルゲート16頭

22.10.5 大井 1200m 雨・稍重	⑧⑨ レッドルゼル(JRA) 牡6 58 川田将雅 1.10.6 1人 ⑦⑦ テイエムサウスダン(JRA) 牡5 56 岩田康誠 1 3 ②② オーロラテソーロ(JRA) 牡5 56 鮫島克駿 3/4 2
21.10.6 大井 1200m 曇・稍重	⑦⑩ サクセスエナジー(JRA) 牡7 57 松山弘平 1.10.3 7人 ④⑤ リュウノユキナ(JRA) 牡6 56 柴田善臣 3/4 1 ①① レッドルゼル(JRA) 牡5 56 川田将雅 クビ 2
20.10.7 大井 1200m 雨・良	②③ ジャスティン(JRA) 牡4 56 戸崎圭太 1.10.8 1人 ⑤⑤ ブルドッグボス(浦和) 牡8 58 御神本訓史 クビ 7 ④⑦ コパノキッキング(JRA) セン5 57 藤田菜七子 1/2 3

●速い時計の決着ならばJRA馬が圧倒
過去5年ではJRA馬が4勝で、地方馬が1勝。2018年はキタサンミカヅキ(船橋)が1分12秒1(良)で勝利し、本競走連覇を飾った。よって19年以降、JRA馬が4連勝中。その間の勝ちタイムはすべて1分10秒台(馬場状態は良か稍重)だ。つまり、ある程度速い時計が出る馬場だとJRA馬が勝ちやすく、反対に時計がかかるようだと地方馬に勝つチャンスが出てくる。
前走レースは様々。重賞実績はある程度必要として、ダート1600m以下であればJRA・地方・海外のどれでも問題なく、休み明けでも割引材料にはならない。着順は4着以内であるのが望ましいが、テレビ杯オーバルスプリント組は5着以下からの巻き返しに要注意だ。

第20回 レディス プレリウド JpnⅡ

10月5日(木)
大井1800m
3歳以上牝馬
1着賞金3100万円
フルゲート16頭

22.10.6 大井 1800m 曇・重	③③ プリティーチャンス(JRA) 牝5 55 岩田望来 1.51.7 2人 ⑤⑤ テリオスベル(JRA) 牝5 55 江田照男 1 4 ②② ショウナンナデシコ(JRA) 牝5 57 吉田隼人 クビ 1
21.10.7 大井 1800m 曇・良	⑦⑧ レースプランジュ(JRA) 牝4 56 松山弘平 1.52.6 3人 ③③ テオレーマ(JRA) 牝5 55 川田将雅 2 1/2 1 ⑥⑥ ウェルドーン(JRA) 牝3 54 藤岡佑介 1 2
20.10.8 大井 1800m 雨・不良	⑤⑩ マルシュロレーヌ(JRA) 牝4 55 川田将雅 1.52.1 1人 ⑫⑫ マドラスチェック(JRA) 牝4 55 森 泰斗 3 3 ⑦⑦ プリンシアコメータ(JRA) 牝7 56 岩田康誠 2 1/2 4

●前走ブリーダーズゴールドC組が中心
過去5年で3着以内に入った15頭中13頭がJRA馬で、2頭が地方馬。2018年2着プランシェール(大井)は前走ブリーダーズゴールドカップ6着、同年3着アルティマウェポン(北海道)は前走同レース7着だった。ブリーダーズゴールドカップが好ステップで、3着以内に好走したJRA馬がいれば中心になる。21年1着レヌマランシはブリーダーズゴールドカップが競走除外となったが、出走する意思を示していたこと自体が大きい。
一方、21年2着テオレーマと22年3着ショウナンナデシコは前走がスパーキングレディーカップ。3着以内には入ったが、ともに1番人気にこたえることができなかった。

第36回 マイルチャンピオン シップ南部杯 JpnⅠ

10月9日(祝・月)
盛岡1600m
3歳以上
1着賞金7000万円
フルゲート16頭



写真●岩手県競馬組合

22.10.10 盛岡 1600m 曇・不良	②④ カフェアラオ(JRA) 牡5 57 福永祐一 1.34.6 1人 ④④ ヘリオス(JRA) セン6 57 武 豊 ハナ 6 ⑧⑧ シャマル(JRA) 牡4 57 川須栄 1/2 3
21.10.11 盛岡 1600m 曇・不良	⑧⑩ アルクトス(JRA) 牡6 57 田邊裕信 1.35.3 1人 ⑦⑦ ヒロシゲゴールド(JRA) 牡6 57 亀田浩心 2 1/2 7 ⑧⑧ ソリストサンダー(JRA) 牡6 57 戸崎圭太 アタマ 2
20.10.12 盛岡 1600m 雨・稍重	⑦⑭ アルクトス(JRA) 牡5 57 田邊裕信 R 1.32.7 6人 ⑤⑤ モズアスコット(JRA) 牡6 57 横山武史 クビ 2 ①② モジアナフレイバー(大井) 牡5 57 繁田健一 1 1/4 7
19.10.14 盛岡 1600m 曇・良	②③ サンライズノヴァ(JRA) 牡5 57 吉原寛人 1.34.2 4人 ④④ アルクトス(JRA) 牡4 57 田邊裕信 1 1/2 2 ⑦⑩ ゴールドドリーム(JRA) 牡6 57 C.ルメール 1 1/2 1
18.10.8 盛岡 1600m 晴・良	⑦⑫ ルヴァンスレーヴ(JRA) 牡3 55 M.デムーロ 1.35.3 2人 ⑤⑦ ゴールドドリーム(JRA) 牡5 57 C.ルメール 1 1/2 1 ⑧③ メイショウウタゲ(JRA) 牡7 57 酒井 学 3 5

●左回りのマイル戦で実績上位の馬を狙う
まずは“コーナーを2回通過するダートのマイル戦で最も強い馬”を狙う、という考えで中心馬を選びたい。国内だと本競走が行われる当コースと、東京ダート1600mの実績が重要だ。
東京はフェブラリーステークスが最も関連強く、次いで武蔵野ステークス、ユニコーンステークスとなる。2018年1着ルヴァンスレーヴは、東京ダート1600mではユニコーンステークスを含む2戦2勝。19年1着サンライズノヴァはフェブラリーステークス4着や武蔵野ステークス、ユニコーンステークス1着などの実績。20、21年に連覇(19年は2着)を果たしたアルクトスは、盛岡ダート1600mの巧者だった。同馬は22年の本競走は2番人気で14着に敗れ、そのまま引退となってしまったが、年齢(7歳)よりも休み明け(フェブラリーステークス以来)の影響が大きかったのではないだろうか。過去には8歳馬の優勝や9歳馬の好走もあるが、長すぎるブランクは厳しい印象。5月のかしわ記念以降、一度はレースを使っていることが望ましい。
近2年は2着にヒロシゲゴールド、ヘリオスと1200~1400mがベストの馬が食い込んでいる。ただ、前者はクラスタークップで3度馬券絡み、後者は根岸ステークス2着の実績があった。

第26回 エーデルワイス賞 JpnⅢ

11月1日(水)
門別1200m 2歳牝馬
1着賞金2000万円
フルゲート16頭

22.10.20 門別 1200m 晴・良	③⑤ マルカラビッド(JRA) 牝2 54 小沢大仁 1.13.7 4人 ⑥⑥ エコロアイ(JRA) 牝2 54 武 豊 2 1/2 3 ⑦⑦ トモジャミ(JRA) 牝2 54 津村明秀 1 2
--------------------------------	---

第13回 JBCレディス クラシック JpnⅠ

11月3日(祝・金)
大井1800m
3歳以上牝馬
1着賞金6000万円
フルゲート16頭

22.11.3 盛岡 1800m 曇・良	⑧⑩ ヴァレーデラルナ(JRA) 牝3 53 岩田望来 1.50.1 3人 ⑦⑦ グランブリッジ(JRA) 牝3 53 福永祐一 クビ 2 ②② ショウナンナデシコ(JRA) 牝5 55 吉田隼人 1 1/4 1
21.11.3 金沢 1500m 曇・良	⑤⑥ テオレーマ(JRA) 牝5 55 川田将雅 R 1.32.1 1人 ③③ マドラスチェック(JRA) 牝5 55 齋藤 新 2 1/2 6 ④④ リネンファッション(JRA) 牝4 55 武 豊 3/4 4
20.11.3 大井 1800m 曇・稍重	⑦⑫ ファッションスタ(JRA) 牝6 55 北村友一 1.51.1 2人 ②② マドラスチェック(JRA) 牝4 55 森 泰斗 アタマ 3 ⑦⑩ マルシュロレーヌ(JRA) 牝4 55 川田将雅 3 1

●実績上位の人気馬が強い
過去5年で3着以内に入った15頭はすべてJRA馬。実績上位の人気馬が比較強く、大井1800mで行われた2020年は2→3→1番人気の順番で決着した。3着以内にいった馬の前走はレディスプレリウドが最も多いが、意外と本番のJBCレディスクラシックには直結しない。特にこの両レースを連勝するのは難しく、敗退馬の巻き返しの方を警戒したい。あとはブリーダーズゴールドカップやスパーキングレディーカップなど、別路線から強い馬が来る場合がある。22年1着のヴァレーデラルナはJRAの条件クラスを3連勝中だった。牝馬のダートグレードは、JRAの3勝クラスで強い競馬をしていれば通用する可能性がある。上り馬にもチャンスがある一戦だ。

第23回 JBCスプリント Jpn I 11月3日(祝・金) 大井 1200m 3歳以上 1着賞金8000万円 フルゲート16頭	22.11.3 盛岡 1200m 小雨・良	4 ⑥ ダンシングプリンス(JRA) 牡6 57 三浦皇成 1.09.1 3人人気 7 ⑫ リュウノユキナ(JRA) 牡7 57 横山武史 3/4 5 5 ⑧ ヘリオス(JRA) セ6 57 武 豊 3 4 単勝⑥540円 枠連複(4-7)1,480円 馬連複(6-12)2,180円 馬連単(6-12)4,180円 3連複(6-8-12)6,640円 3連単(6-12-8)32,860円	●激戦必至でスタートが鍵 JBC競走の中では最も激戦になりやすく、予想も難しい。JRA馬と地方馬の実力が拮抗しているうえ、枠順や展開によって結果が変わりそうなので、蓋を開けてみないとわからない。近年はスタートがとにかく鍵。大井1200mで行われた2020年は3番人気ブルドッグボス(浦和)が痛恨の出遅れで3着。22年は前走クラスターカップで出遅れ4着に敗れていたダンシングプリンスが巻き返して1着。対照的に1番人気のレッドルゼルは出負けして4着に敗れた。短距離戦だけに少しのロスが致命傷になる。 前哨戦は東京盃が最も重要だが、本番は全く違うレース展開になると考えるべきだ。敗れた馬でも巻き返せそうなケースを常に考えたい。
	21.11.3 金沢 1400m 晴・良	8 ⑫ レッドルゼル(JRA) 牡5 57 川田将雅 R 1.24.6 1人人気 5 ⑤ サンライズノヴァ(JRA) 牡7 57 吉原寛人 3 5 6 ⑦ モズスーパーフレア(JRA) 牝6 55 松若風馬 1/2 4 単勝⑫200円 枠連複(5-8)1,170円 馬連複(5-12)930円 枠連単(8-5)1,650円 馬連単(12-5)1,360円 3連複(5-7-12)3,510円 3連単(12-5-7)12,990円	
	20.11.3 大井 1200m 曇・稍重	9 ⑥ サブノジュニア(大井) 牡6 57 矢野貴之 1.10.7 8人人気 5 ⑩ マテラスカイ(JRA) 牡6 57 武 豊 1 3/4 7 7 ⑭ ブルドッグボス(浦和) 牡8 57 御神本訓史 3/4 3 単勝⑥1,970円 枠連複(3-5)6,660円 馬連複(6-10)12,510円 枠連単(3-5)14,970円 馬連単(6-10)27,010円 3連複(6-10-14)19,160円 3連単(6-10-14)180,770円	

第23回 JBCクラシック Jpn I 11月3日(祝・金) 大井 2000m 3歳以上 1着賞金1億円 フルゲート16頭	22.11.3 盛岡 2000m 小雨・良	7 ⑬ テーオーケインズ(JRA) 牡5 57 松山弘平 2.02.1 1人人気 3 ④ クラウンブライド(JRA) 牡3 55 福永祐一 2 1/2 2 5 ⑧ ペイシャエス(JRA) 牡3 55 菅原明良 1 1/4 4 単勝⑬180円 枠連複(3-7)420円 馬連複(4-13)470円 馬連単(13-4)680円 3連複(4-8-13)1,550円 3連単(13-4-8)4,220円	●前走帝王賞が日本テレビ盃のJRA馬 過去5年の3着以内馬15頭のうちJRA馬は13頭で、大半が3番人気以内。前走レースは帝王賞が日本テレビ盃が多数を占める。帝王賞組は5着以内に入っていれば有力。大井2000mで行われた2020年は、帝王賞1〜3着馬がそのまま着順が変わらずに本競走でも入線を果たすという珍しい結果となった。日本テレビ盃組は着差にもよるが、3着以内に入っていれば本番で逆転する可能性が見込める。 一方、地方馬で好走した19年3着センチュリオン(浦和)、前走埼玉新聞杯冠賞2着)と21年1着ミュウチャリー(船橋、前走白山大賞典2着)はともに別路線組で、なおかつ6番人気だった。穴を狙うならば地方馬に注目。
	21.11.3 金沢 2100m 晴・良	6 ⑦ ミューチャリー(船橋) 牡5 57 吉原寛人 2.13.1 6人人気 3 ③ オメガバフェウム(JRA) 牡6 57 M.デムーロ 1/2 2 1 ① チュウワウイザード(JRA) 牡6 57 戸崎圭太 1 3 単勝⑦1,390円 枠連複(3-6)2,330円 馬連複(3-7)3,380円 枠連単(6-3)6,590円 馬連単(7-3)8,640円 3連複(1-3-7)3,230円 3連単(7-3-1)45,150円	
	20.11.3 大井 2000m 曇・稍重	3 ⑤ クリンベリル(JRA) 牡4 57 川田将雅 2.02.5 1人人気 1 ① オメガバフェウム(JRA) 牡5 57 M.デムーロ 2 1/2 2 8 ⑭ チュウワウイザード(JRA) 牡5 57 C.ルメール 2 3 単勝⑤130円 枠連複(1-3)180円 馬連複(1-5)210円 枠連単(3-1)210円 馬連単(5-1)260円 3連複(1-5-14)250円 3連単(5-1-14)520円	

第4回 JBC2歳優駿 Jpn III	11月3日(祝・金) 門別 1800m 2歳 1着賞金3500万円 フルゲート14頭	22.11.3 門別 1800m 曇・重	5 ⑥ グライコウ(JRA) 牡2 55 石川 優 1.53.5 9人人気 7 ⑪ ベルビット(北海道) 牡2 55 桑村真明 2 1/2 1 3 ③ リアルミー(北海道) 牡2 55 服部茂史 1 1/2 5 単勝⑥2,200円 枠連複(5-7)1,990円 馬連複(6-11)3,450円 馬連単(6-11)9,430円 3連複(3-6-11)12,050円 3連単(6-11-3)99,650円
--	--	-------------------------------	---

第25回 兵庫ジュニア グランプリ Jpn II 11月22日(水) 園田 1400m 2歳 1着賞金3000万円 フルゲート12頭	22.11.24 園田 1400m 晴・重	3 ③ オマツリオトコ(JRA) 牡2 55 横山武史 1.29.0 2人人気 2 ② スペシャルエックス(北海道) 牡2 55 田中 学 4 5 6 ⑧ デステージョ(北海道) 牡2 55 吉村智洋 2 1/2 6 単勝③370円 枠連複(2-3)1,950円 馬連複(2-3)1,810円 馬連単(3-2)3,250円 3連複(2-3-8)8,210円 3連単(3-2-8)20,840円	●なでしこ賞の勝ち馬が中心 2018、19年はJRAの人気3頭が上位独占。20、21年も1、2番人気とも馬券に絡んでおり、堅い決着だった。しかし、22年は1番人気競走中止とはいえ、5、6番人気の北海道所属馬が2、3着に食い込み波乱となった。 JRA馬のなかでも信頼できるのが、なでしこ賞の勝ち馬。18年から21年にかけては前走同レース1着馬が馬券に絡んでいた。22年はなでしこ賞優勝馬の出がなく、前走ヤマボウシ賞1着のオマツリオトコが勝利した。 また、18年1着デルマルーヴルは前走オキザリス賞を勝っていた。要はJRAの1勝クラス・ダート1400mを勝っているかどうかだ。 加えて20年に1戦1勝で2着と好走したレディバブは、前走阪神ダート1400mの新馬戦を5馬身差で圧勝していた。この距離で強いパフォーマンスをしていれば1勝馬でもチャンスはある。 実績的にはエーデルワイス賞好走馬にも目が行くが、あまり強気にはならない。距離実績やメンバー的に本競走で勝ち切るのは大変だ。 地方馬は21年3着ブライロード(大井)が前走インセントカップ2着。22年2着スペシャルエックスと3着デステージョ(ともに北海道)は鎌倉記念でそれぞれ2着、3着の実績があった。
	21.11.25 園田 1400m 曇・稍重	7 ⑩ セキフウ(JRA) 牡2 55 M.デムーロ 1.29.7 2人人気 5 ⑤ コンパスチョン(JRA) 牡2 55 三浦皇成 クビ 1 6 ⑧ ブライロード(大井) 牡2 55 吉村智洋 3 5 単勝⑩250円 枠連複(5-7)180円 馬連複(5-10)280円 馬連単(10-5)580円 3連複(5-8-10)1,020円 3連単(10-5-8)3,270円	
	20.12.2 園田 1400m 晴・良	1 ① デュアリスト(JRA) 牡2 55 福永祐一 1.26.9 1人人気 2 ② レディバブ(JRA) 牝2 54 酒井 学 1/2 4 6 ⑦ ゼンノアンジュ(JRA) 牝2 54 岩田康誠 4 2 単勝①190円 枠連複(1-2)1,410円 馬連複(1-2)1,140円 馬連単(1-2)1,380円 3連複(1-2-7)430円 3連単(1-2-7)3,040円	
 写真●兵庫県競馬組合	19.11.27 園田 1400m 曇・良	6 ⑦ テイエムサウスタン(JRA) 牡2 55 M.デムーロ 1.28.0 3人人気 5 ⑥ メイショウテンシイ(JRA) 牡2 55 武 豊 1 1/2 2 7 ⑨ ファシネートゼット(JRA) 牝2 54 松若風馬 1 1/4 1 単勝⑦370円 枠連複(5-6)400円 馬連複(6-7)390円 馬連単(7-6)920円 3連複(6-7-9)230円 3連単(7-6-9)1,640円	
	18.11.28 園田 1400m 曇・良	8 ⑫ デルマルーヴル(JRA) 牡2 55 C.ルメール 1.28.6 1人人気 2 ② オルトグラフ(JRA) 牝2 54 北村宏司 4 2 5 ⑤ デンバーテンーロ(JRA) 牝2 54 田邊裕信 1 3 単勝⑫200円 枠連複(2-8)250円 馬連複(2-12)250円 馬連単(12-2)450円 3連複(2-5-12)370円 3連単(12-2-5)1,190円	

第44回 浦和記念 Jpn II 11月23日(祝・木) 浦和 2000m 3歳以上 1着賞金4000万円 フルゲート12頭	22.11.23 浦和 2000m 雨・不良	6 ⑥ クリノドラゴン(JRA) 牡4 56 武 豊 2.06.3 4人人気 2 ② ラーゴム(JRA) 牡4 56 鮫島克駿 2 1/2 3 5 ⑤ アイオライト(JRA) 牡5 56 菱田裕二 クビ 7 単勝⑥690円 枠連複(2-6)1,050円 馬連複(2-6)1,770円 枠連単(6-2)2,460円 馬連単(6-2)3,600円 3連複(2-5-6)12,610円 3連単(6-2-5)68,040円	●まずは前走JBCクラシック組から 基本的に実績上位のJRA馬は出走してこないの、地方馬にとってチャンスがあるレースだ。過去5年では2021年2着のタービランス(浦和)が好走。前走は埼玉新聞杯冠賞1着で、ここは3番人気に支持された。本馬のように浦和での実績豊富な馬からは目が離せない。 JRA馬はまず前走JBCクラシック組から取捨を考えたい。20年1着ダノンファラオは同5着。22年1着クリノドラゴンは同4着で、メイショウハリオに先着し、3着ペイシャエスとはコンマ3秒差と善戦していた。 後は前走白山大賞典連対馬が有力。人気になりやすいが、18年グリム、21年メイショウカササ、22年ラーゴムが連対を果たしている。
	21.11.23 浦和 2000m 晴・重	1 ① メイショウカササ(JRA) 牡4 56 川田将雅 2.07.3 1人人気 7 ⑦ タービランス(浦和) 牡8 56 笹川 翼 2 3 4 ④ ヴェルテックス(JRA) 牡4 56 横山武史 1/2 4 単勝①200円 枠連複(1-7)470円 馬連複(1-7)460円 枠連単(1-7)740円 馬連単(1-7)740円 3連複(1-4-7)1,390円 3連単(1-7-4)3,720円	
	20.11.25 浦和 2000m 曇・稍重	6 ⑥ ダノンファラオ(JRA) 牡3 56 川田将雅 2.06.0 3人人気 5 ⑤ ロードプレス(JRA) 牡4 57 三浦皇成 ハナ 1 2 ② ウェスターランド(JRA) セ8 56 藤岡佑介 アタマ 2 単勝⑥440円 枠連複(5-6)530円 馬連複(5-6)640円 枠連単(6-5)1,090円 馬連単(6-5)1,360円 3連複(2-5-6)890円 3連単(6-5-2)4,820円	

第69回 クイーン賞 Jpn III	11月29日(水) 船橋 1800m 3歳以上牝馬 1着賞金3000万円 フルゲート14頭	22.11.30 船橋 1800m 曇・稍重	8 ⑭ テリオスベル(JRA) 牝5 55 江田照男 1.54.4 3人人気 1 ① グランブリッジ(JRA) 牝3 54 福永祐一 2 2 5 ⑦ ショウナンナデシコ(JRA) 牝5 57.5 吉田隼人 7 1 単勝⑭510円 枠連複(1-8)410円 馬連複(1-14)450円 枠連単(8-1)1,480円 馬連単(14-1)1,290円 3連複(1-7-14)180円 3連単(14-1-7)2,130円
---	---	---------------------------------	---

第74回 全日本2歳優駿 JpnI 12月13日(水) 川崎1600m 2歳 1着賞金4200万円 フルゲート14頭	22.12.14 川崎 1600m 晴・稍重	③④ デルマントガケ(JRA) 牡2 55 松若風馬 1.43.3 3人気 ⑦⑫ オマツリオトコ(JRA) 牡2 55 横山武史 アタマ 2 ⑧⑬ ベリエール(JRA) 牡2 55 福永祐一 1 2 単勝④560円 枠連複(3-7)840円 馬連複(4-12)1,120円 枠連単(3-7)2,130円 馬連単(4-12)2,480円 3連複(4-12-13)770円 3連単(4-12-13)7,400円	●もちの木賞勝ち馬にも注目 過去5年で3着以内に入った15頭中、JRA馬は10頭でそのうち9頭は5番人気以内(残る1頭は8番人気)だった。つまりJRA馬は実績と前評判があてになると言えるだろう。連軸候補は兵庫ジュニアグランプリ好走馬。また同組は4着以内まで注意が必要だ。JRAの前走1勝クラス組で注目しはもちの木賞の勝ち馬。2018年のノーヴァレンダや22年のデルマントカゲが同レースから連勝。1400~1600mよりも、1800mを勝つ力がある点が重要かもしれない。好走した地方馬5頭はすべて南関東所属。ダートグレードの好走実績があれば理想だが、ハイセイコー記念や平和賞といった南関東の重賞で好走実績があれば十分チャンスがある。
	21.12.15 川崎 1600m 晴・稍重	⑥⑩ ドライスタウト(JRA) 牡2 55 戸崎圭太 1.39.2 1人気 ④⑤ コンパスチョン(JRA) 牡2 55 松山弘平 2 1/2 3 ②② プライルード(大井) 牡2 55 張田 昂 5 11 単勝⑩180円 枠連複(4-6)420円 馬連複(5-10)540円 枠連単(6-4)670円 馬連単(10-5)720円 3連複(2-5-10)18,590円 3連単(10-5-2)46,890円	
	20.12.16 川崎 1600m 晴・良	⑦⑪ アランパローズ(船橋) 牡2 55 左海誠二 1.40.7 2人気 ⑩⑬ ランリョウオー(浦和) 牡2 55 本橋孝太 5 6 ④⑥ ルーチェドーロ(JRA) 牡2 55 戸崎圭太 3 8 単勝①560円 枠連複(6-7)2,620円 馬連複(10-11)2,690円 枠連単(7-6)4,380円 馬連単(11-10)4,820円 3連複(6-10-11)23,070円 3連単(11-10-6)92,610円	

第23回 兵庫ゴールド トロフィー JpnIII 12月20日(水) 園田1400m 3歳以上 1着賞金3000万円 フルゲート12頭	22.12.21 園田 1400m 曇・良	①① ラプタス(JRA) セン6 59 幸 英明 1.27.3 4人気 ⑦⑨ シャマル(JRA) 牡4 58 川田将雅 1 1 ⑤⑥ サクセスエナジー(JRA) 牡8 59 松山弘平 1 1/4 5 単勝①1,120円 枠連複(1-7)770円 馬連複(1-9)750円 馬連単(1-9)2,560円 3連複(1-6-9)2,740円 3連単(1-9-6)19,200円	●前走GI/JpnI組が巻き返す 過去5年で3着以内馬15頭中、JRA馬は10頭だが、地方馬も毎年1頭は馬券に絡んでくるとみられがよい。中心は前走GI/JpnI組。20年1着サクセスエナジーと2着ベストマッチョ、22年1着ラプタスは前走JBCスプリント7着以下から巻き返した。22年2着シャマルは前走チャンピオンズカップで5着と善戦していた。19年1着デビュープロセスや21年1着ティエムサウスダンは前走武蔵野ステークス7着以下から巻き返した。東京ダート1600mの重賞組もコース替わりで狙いやすい。その他の重賞組は好走していれば問題ないが、負けている場合はやや狙いづらくなる。地方は前走1着の地元兵庫所属の馬に注目だ。
	21.12.22 園田 1400m 曇・稍重	⑤⑤ テイエムサウスダン(JRA) 牡4 58 岩田康誠 1.27.0 1人気 ⑧⑪ ラプタス(JRA) セン5 59 幸 英明 1 2 ⑤⑥ イグナイター(兵庫) 牡3 52 笹田知宏 1 1/4 3 単勝⑤190円 枠連複(5-8)230円 馬連複(5-11)360円 馬連単(5-11)600円 3連複(5-6-11)530円 3連単(5-11-6)1,850円	
	20.12.23 園田 1400m 晴・良	③③ サクセスエナジー(JRA) 牡6 58.5 松山弘平 1.28.0 2人気 ⑤⑤ ベストマッチョ(川崎) セン7 56 森 泰斗 ハナ 4 ⑧⑫ ラプタス(JRA) セン4 57.5 幸 英明 クビ 1 単勝③320円 枠連複(3-5)990円 馬連複(3-5)1,070円 馬連単(3-5)1,830円 3連複(3-5-12)820円 3連単(3-5-12)5,300円	

第23回 名古屋グランプリ JpnII 12月21日(木) 名古屋2100m 3歳以上 1着賞金3800万円 フルゲート12頭	22.12.8 名古屋 2100m 晴・良	⑦⑨ ペイシャエス(JRA) 牡3 55 菅原明夫 2.15.1 1人気 ⑧⑩ ヴァンヤール(JRA) 牡4 56 荻野 極 ハナ 5 ②② ラーゴム(JRA) 牡4 56 鮫島克駿 3 4 単勝⑨230円 枠連複(6-7)740円 馬連複(8-9)780円 馬連単(9-8)1,180円 3連複(2-8-9)1,040円 3連単(9-8-2)4,250円	●新コースでも傾向は同じ 過去5年、1番人気の3着内率は100%でJRA馬が4連勝中だ。そして2番人気は4頭が馬券に絡んでいる。3着以内馬の中で最も人気なかったのは、2020年に6番人気3着のダイシンインディー。基本的にJRAの上位人気馬が強い傾向で、穴は見込みづらい。また、近年は3歳馬を中心に若い馬の勝利が目立つものの、ベテラン勢も軽視はしない方がよい。地方勢も地元名古屋所属で有望な馬がいる場合は、必ず注目したい。
	21.12.23 名古屋 2500m 晴・稍重	⑧⑪ ヴェルテックス(JRA) 牡4 56 横山武史 2.45.4 1人気 ⑦⑧ ケイアイパープル(JRA) 牡5 56 松山弘平 2 1/2 2 ④④ ダンビュライト(JRA) セン7 57 松若風馬 4 4 単勝⑪210円 枠連複(7-8)260円 馬連複(8-11)260円 馬連単(11-8)510円 3連複(4-8-11)830円 3連単(11-8-4)2,710円	22年は新コースの2100mで行われ、1番人気のペイシャエス(前走JBCクラシック3着)が勝利した。21年以前も前走GI/JpnI組ではJBC競走やチャンピオンズカップが有力で、大敗した馬でも巻き返しは可能だった。その意味では旧コースの時とレース傾向は変わっておらず、GI/JpnI好走馬は信頼できる中心になりうる。
	20.12.10 名古屋 2500m 晴・良	⑦⑩ マスターフェンサー(JRA) 牡4 56 川田将雅 2.44.8 1人気 ⑤⑥ ロードゴラン(JRA) 牡5 56 C.ルメール 2 2 ⑦⑨ ダイシンインディー(JRA) 牡4 56 岩田康誠 1 6 単勝⑩140円 枠連複(5-7)160円 馬連複(6-10)200円 馬連単(10-6)280円 3連複(6-9-10)1,890円 3連単(10-6-9)3,820円	GI/JpnI組以外では、みやこステークスや浦和記念組が有力だ。19年2着アングライフェン、21年3着ダンビュライト、22年2着ヴァンヤールがみやこステークス組。18年3着グリム、19年1着デルムルーヴル、同年3着アナザータールース、21年1着ヴェルテックス、22年3着ラーゴムは前走浦和記念に出走していた。どちらかのレースで5着以内に入っていることが望ましい。
	19.12.19 名古屋 2500m 曇・稍重	②② デルムルーヴル(JRA) 牡3 54 岡部 誠 2.42.4 1人気 ⑧⑫ アングライフェン(JRA) 牡7 56 O.マーフィ クビ 4 ⑥⑧ アナザータールース(JRA) セン5 56 大野拓弥 1 1/2 2 単勝②280円 枠連複(2-8)830円 馬連複(2-12)810円 馬連単(2-12)1,740円 3連複(2-8-12)550円 3連単(2-12-8)3,860円	
	18.12.24 名古屋 2500m 晴・稍重	⑧⑩ チュウワウィザード(JRA) 牡3 54 川田将雅 2.40.7 2人気 ①① ミツパ(JRA) 牡6 56 福永祐一 1/2 3 ⑦⑦ グリム(JRA) 牡3 54 武 豊 2 1 単勝⑧290円 枠連複(1-8)1,130円 馬連複(1-8)960円 馬連単(8-1)1,500円 3連複(1-7-8)350円 3連単(8-1-7)4,520円	

第69回 東京大賞典 GI 12月29日(金) 大井2000m 3歳以上 1着賞金1億円 フルゲート16頭	22.12.29 大井 2000m 晴・良	④⑥ ウシュパテソーロ(JRA) 牡5 57 横山和生 2.05.0 2人気 ②② ノットウルノ(JRA) 牡3 55 武 豊 1 3/4 4 ④⑤ メイショウハリオ(JRA) 牡5 57 濱中 俊 2 1/2 1 単勝⑥430円 枠連複(2-4)530円 馬連複(2-6)1,600円 枠連単(4-2)900円 馬連単(6-2)2,830円 3連複(2-5-6)970円 3連単(6-2-5)7,690円	●前走チャンピオンズC以外なら連対必須 過去5年でオメガパフュームが4連覇(2018~21年)を果たしている。同馬の前走を振り返ると、18、19年はチャンピオンズカップ5、6着、20、21年はともにJBCクラシック2着。左回りが得意ではなかったという事情があるものの、ここにレース全体の特徴が出ている。
	21.12.29 大井 2000m 晴・良	⑤⑨ オメガパフューム(JRA) 牡6 57 M.デムーロ 2.04.1 1人気 ⑦⑫ クリンチャー(JRA) 牡7 57 川田将雅 1/2 3 ③⑤ ウェスターランド(JRA) セン9 57 藤岡佑介 2 7 単勝⑨180円 枠連複(5-7)410円 馬連複(9-12)490円 枠連単(5-7)740円 馬連単(9-12)760円 3連複(5-9-12)2,770円 3連単(9-12-5)6,590円	20年に9番人気で2着と好走したカジノフォンテン(船橋)は前走勝島王冠1着と勢いがあつた。一方、22年1番人気のメイショウハリオは前走JBCクラシックで5着と敗れていた。2走前に帝王賞を勝利していたので、巻き返しを期待されたが3着だった。つまり前走チャンピオンズカップ組であれば4着以下でも巻き返しは可能だが、それ以外の組は連対している必要がある。
	20.12.29 大井 2000m 晴・良	④⑦ オメガパフューム(JRA) 牡5 57 M.デムーロ 2.06.9 1人気 ⑦⑫ カジノフォンテン(船橋) 牡4 57 張田 昂 クビ 9 ③⑤ ウェスターランド(JRA) セン8 57 藤岡佑介 1/2 3 単勝⑦130円 枠連複(4-7)1,820円 馬連複(7-14)2,200円 枠連単(4-7)2,430円 馬連単(7-14)2,340円 3連複(7-9-14)4,010円 3連単(7-14-9)12,530円	



高額配当ランキング

2023年6月1日 ~ 2023年8月31日

【五重勝単勝式】

第1位	5,561,360円(1口)	7/15 佐賀
第2位	4,054,260円(1口)	6/6 水沢
第3位	3,465,420円(1口)	8/9 園田

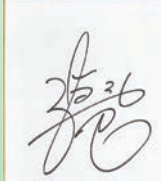
【七重勝単勝式】

第1位	1,321,250円(2口)	7/2 帯広
-----	----------------	--------

読者プレゼント

①渡邊電也騎手
直筆サイン色紙…3名様
提供：渡邊電也騎手

②オッズパーク
特製ボールペン…10名様
提供：オッズ・パーク株式会社



ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④本誌に対するご意見・感想、⑤Odds Parkを利用のご感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望、⑦電話番号を明記の上、下記まで。締切は10月16日(月)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。〒901-0298 沖縄県豊見城市豊崎 オッズパークサポートセンター OPCプレゼント係

Odds Park Club vol.71 | 13

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 名古屋、兵庫(園田)、高知…………… ナイター開催当日10:00～
 ばんえい帯広、佐賀、ホッカイドウ、南関東…………… ナイター開催当日12:00～

DGダートグレード開催日 重賞重賞開催日
 ●:デイ開催 ●:薄暮取扱 ●:ナイター取扱

10月	1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8日	9月	10火	11水	12木	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木	20金	21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29日	30月	31火		
ばんえい帯広	●	●					●	●	●					●	重賞	●					●	●	●					●	重賞	●		ばんえい	
岩手盛岡／水沢	盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡	岩手	
	重賞	●	重賞					●	DG	●					重賞	●	重賞					重賞	●	●					重賞	●	●		
金沢		●	●					重賞		●					重賞		●					重賞		●							●	●	金沢
笠松										●	●	重賞	●										●		●	●	●						笠松
名古屋			●	●	重賞	●										●		●	●	●											重賞	名古屋	
兵庫園田／姫路			園田	園田	園田						園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田				園田	兵庫	
			●	●	●						●	重賞	●				●	●	●					●	●	重賞				●			
高知	●						●	●						●	●						●	●						●	重賞			高知	
佐賀	重賞						●	●						●	重賞						●	重賞	●					●	●			佐賀	
北海道・南関DG				大井DG	大井DG																											北海道・南関	

11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
ばんえい 帯 広				● 重賞	●						● 重賞	●						●	●	●					● 重賞	●					ばんえい
岩 手 盛岡／水沢				盛岡 重賞	盛岡	盛岡					盛岡 重賞	盛岡	盛岡					盛岡 重賞	盛岡	盛岡						水沢	水沢	水沢			岩 手
金 沢				重賞		●						●		●					重賞	●	●	重賞					●		●		金 沢
笠 松							●	●	重賞	●												重賞	●	●	●						笠 松
名 古 屋	●	●				●								●	●	重賞	●											重賞	●	●	名古屋
兵 庫 園田／姫路	園田 重賞	園田	園田				園田	園田	園田					園田	園田	園田						園田	園田	園田				園田	園田	園田	兵 庫
高 知				● 重賞							●	●							● 重賞							●	●				高 知
佐 賀				●	●	●					● 重賞							●	●	●					● 重賞						佐 賀
北海道・ 南関 DG	門別 DG		門別 大井 DG																				浦和 DG						船橋 DG		北海道・ 南関

12月	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日	
ばんえい 帯 広		●	重賞	●					●	●	●					●	●	●					●	●	●			●	重賞	重賞		ばん えい
岩 手 盛岡／水沢			水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢				水沢	水沢	岩手
			重賞	●	●					重賞	●	●					●	●	●					●	●	●				重賞	重賞	
金 沢			重賞	●	●					●		●							●	●			●		●	●	●					金沢
笠 松						●	●	●			●																●		●	重賞	重賞	笠松
名 古 屋	●											●	●	●	●						●	DG	●			●						名古屋
兵 庫 園田／姫路	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田							園田	園田	園田	兵庫
	●				●	●	重賞					●	●	●					●	DG	●							●	●	重賞		
高 知		●	●						●	●						●	●											重賞	●		重賞	高知
佐 賀		●	重賞	●					●	●						●	●	●					●	重賞								佐賀
北海道・ 南関 DG													川崎 DG																大井 DG			北海道・ 南関

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。
 ※ホッカイドウ競馬、南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみ投票できます。

重賞&ダートグレード日程(2023年10月~12月)

10月	競馬場	実施日	競走名	重賞	競走条件	距離	備考
	盛岡	1(日)	第36回 ダービーグランプリ	重賞	3歳	2,000	地方全国交流
	佐賀	1(日)	第1回 ネクストスター佐賀	重賞	2歳	1,400	
	盛岡	3(火)	第1回 ネクストスター盛岡	重賞	2歳	1,400	
	大井	4(水)	第57回 東京盃JpnII	DG	3歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	大井	5(木)	第20回 レディースプレリウドJpnII	DG	3歳以上牝馬	1,800	中央・地方全国交流
	名古屋	5(木)	第41回 ゴールド争覇	重賞	3歳以上	1,500	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	金沢	8(日)	第21回 金沢スプリントカップ	重賞	3歳以上	1,400	地方全国交流
	盛岡	9(祝・月)	第36回 マイルチャンピオンシップ南部杯JpnI	DG	3歳以上	1,600	中央・地方全国交流
	笠松	12(木)	第1回 ネクストスター笠松	重賞	2歳	1,400	
	園田	12(木)	第1回 ネクストスター園田	重賞	2歳	1,400	
	帯広	15(日)	第46回 ナナカマド賞	重賞	2歳	200	
	盛岡	15(日)	第43回 若駒賞	重賞	2歳	1,600	
	金沢	15(日)	第67回 MRO金賞	重賞	3歳	1,400	
	佐賀	15(日)	第6回 佐賀オータムスプリント	重賞	3歳以上	1,400	
	盛岡	17(火)	第16回 サファイア賞	重賞	3歳	芝2,400	
	園田	20(金)	第7回 兵庫ゴールドカップ	重賞	3歳以上	1,230	地方全国交流
	盛岡	22(日)	第13回 OROターフスプリント	重賞	3歳以上	芝1,000	地方全国交流
	金沢	22(日)	第8回 金沢シンデレラカップ	重賞	2歳牝馬	1,500	地方全国交流
	佐賀	22(日)	第11回 カベラ賞	重賞	2歳	1,800	
	園田	27(金)	第20回 兵庫クイーンカップ	重賞	3歳以上牝馬	1,870	北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	帯広	29(日)	第44回 北見記念	重賞	3歳以上	200	
	盛岡	29(日)	第39回 プリンセスカップ	重賞	2歳牝馬	1,400	地方全国交流
	高知	29(日)	第1回 ネクストスター高知	重賞	2歳	1,400	
	名古屋	31(火)	第1回 ネクストスター名古屋	重賞	2歳	1,500	
11月	門別	1(水)	第26回 エーデルワイス賞JpnIII	DG	2歳牝馬	1,200	中央・地方全国交流
	園田	1(水)	第57回 楠賞	重賞	3歳	1,400	地方全国交流
	門別	3(祝・金)	第4回 JBC2歳優駿JpnIII	DG	2歳	1,800	中央・地方全国交流
	大井	3(祝・金)	第13回 JBCレディースクラシックJpnI	DG	3歳以上牝馬	1,800	中央・地方全国交流
	大井	3(祝・金)	第23回 JBCスプリントJpnI	DG	3歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	大井	3(祝・金)	第23回 JBCクラシックJpnI	DG	3歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	帯広	5(日)	第48回 ばんえい菊花賞	重賞	3歳	200	
	盛岡	5(日)	第13回 絆カップ	重賞	3歳以上	1,200	
	金沢	5(日)	第71回 北國王冠	重賞	3歳以上	2,600	地方全国交流
	高知	5(日)	第19回 黒潮マイルチャンピオンシップ	重賞	3歳以上	1,600	
	笠松	9(木)	第10回 ラブミーチャン記念	重賞	2歳牝馬	1,600	地方全国交流
	帯広	12(日)	第48回 クインカップ	重賞	4歳牝馬	200	
	盛岡	12(日)	第50回 南部駒賞	重賞	2歳	1,600	地方全国交流
	佐賀	12(日)	第25回 九州大賞典	重賞	3歳以上	2,500	
	名古屋	16(木)	第64回 東海菊花賞	重賞	3歳以上	2,100	地方全国交流
	盛岡	19(日)	第45回 北上川大賞典	重賞	3歳以上	2,600	
	金沢	19(日)	第5回 徹軒(ことじ)賞	重賞	3歳以上牝馬	1,400	北陸・東海地区交流
	高知	19(日)	第12回 土佐秋月賞	重賞	3歳	1,600	
	金沢	21(火)	第26回 金沢ヤングチャンピオン	重賞	2歳	1,700	
	笠松	21(火)	第19回 笠松グランプリ	重賞	3歳以上	1,400	地方全国交流
	園田	22(水)	第25回 兵庫ジュニアグランプリJpnII	DG	2歳	1,400	中央・地方全国交流
	浦和	23(祝・木)	第44回 浦和記念JpnII	DG	3歳以上	2,000	中央・地方全国交流
	帯広	26(日)	第14回 ドリームエイジカップ	重賞	4歳以上馬齢選抜	200	
	佐賀	26(日)	第6回 ウインターチャンピオン	重賞	3歳以上	1,400	
	名古屋	28(火)	第62回 ゴールドウィング賞	重賞	2歳	1,700	
	船橋	29(水)	第69回 クイーン賞JpnIII	DG	3歳以上牝馬	1,800	中央・地方全国交流
12月	帯広	3(日)	第48回 ばんえいオークス	重賞	3歳牝馬	200	
	水沢	3(日)	第22回 トウケイニセイ記念	重賞	3歳以上	1,600	
	金沢	3(日)	第59回 中日杯	重賞	3歳以上	2,000	
	佐賀	3(日)	第2回 フォーマルハウト賞	重賞	2歳牝馬	1,400	地方全国交流
	園田	7(木)	第66回 園田金盃	重賞	3歳以上	1,870	ファン投票
	水沢	10(日)	第22回 寒菊賞	重賞	2歳	1,600	
	川崎	13(水)	第74回 全日本2歳優駿JpnI	DG	2歳	1,600	中央・地方全国交流・国際交流
	園田	20(水)	第23回 兵庫ゴールドトロフィー JpnIII	DG	3歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	名古屋	21(木)	第23回 名古屋グランプリJpnII	DG	3歳以上	2,100	中央・地方全国交流
	佐賀	24(日)	第39回 中島記念	重賞	3歳以上	1,800	ファン投票
	高知	28(木)	第45回 金の鞍賞	重賞	2歳	1,400	
	帯広	29(金)	第52回 ばんえいダービー	重賞	3歳	200	
	大井	29(金)	第69回 東京大賞典GI	DG	3歳以上	2,000	中央・地方全国・国際交流
	帯広	30(土)	第25回 ヤングチャンピオンシップ	重賞	2歳産駒特別選抜	200	
	水沢	30(土)	第48回 金杯	重賞	2歳	1,600	
	笠松	30(土)	第27回 ライデンリーダー記念	重賞	2歳	1,400	北陸・東海地区交流
	水沢	31(日)	第47回 桐花賞	重賞	3歳以上	2,000	ファン投票
	笠松	31(日)	第52回 東海ゴールドカップ	重賞	3歳以上	1,900	
	園田	31(日)	第52回 園田ジュニアカップ	重賞	2歳	1,700	
	高知	31(日)	第54回 高知県知事賞	重賞	3歳以上	2,400	

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。

昨年度優勝馬 ルーチェードロ
騎手 御神本 訓史

名馬・名手の里で

王者の賛歌 再び

笠松グランプリ

2023年 11月 21日(火) 3歳以上 1,400m

キャンペーン
開催決定!

詳細は11月中旬
オッズパークサイトに公開!

●オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式			連勝単式		三連勝		重勝式			投票方式			
					枠番 枠複	馬番		枠番 枠単	馬番 馬単	三連複	三連単	セレクト5	セレクト7	ランダム7	電話投票ARS	インターネット投票		
						普通 (馬複)	拡大 (ワイド)									オッズパーク 投票	クラシック 投票	携帯 投票
	賭式番号	1	2	3	4	7	5	6	8	9	5	7	7					
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
盛岡	11	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水沢	12	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
笠松	42	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
名古屋	43	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
園田	51	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
姫路	52	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
佐賀	61	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

ホッカイドウ門別	06	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6837-4500 FAX 098-851-0988

受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<https://www.oddspark.com/>

携帯
<http://m.oddspark.com/>

スマートフォン
<https://sp.oddspark.com/>

電話投票

0570-011100(ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555(ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認ください。お間違のないようお願いいたします。

※[0180] [0570] で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからはご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけない場合がございます。

※[0180] で始まる電話番号は(固定電話) 音源所在地までの一般ダイヤル通話料(携帯電話) 全国一律14秒10円(3分130円) かかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル([0570] で始まる電話番号) の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。